

新旧対照表（令和6年4月1日施行）

新（令和6年4月1日施行）		旧（令和5年8月1日施行）	
目次	(省略)	目次	(省略)
	<u>配水管から水道メーターボックスまでの給水材料</u> ・・・・・・・・・・14		<u>給水装置工事フロー図</u> ・・・・・・・・・・14
	(省略)		(省略)
	<u>給水工事における掘削小穴</u> ・・・・・・・・21～22		<u>舗装復旧標準図</u> ・・・・・・・・・・21
	<u>道路工事現場における標示施設等の設置基準</u> ・・・・・・・・・・23～24		<u>給水取出し工事における舗装復旧影響部（推進工法）</u> ・・・・・・・・・・22
	<u>給水取出し工事写真撮影要領</u> ・・・・・・・・25～26		<u>給水取出し工事における舗装復旧影響部（開削工法）</u> ・・・・・・・・・・23
	<u>給水工事検査について</u> ・・・・・・・・・・27		<u>給水工事における掘削小穴</u> ・・・・・・・・24～25
	<u>耐圧テストポンプの掛け方（一次側）</u> ・・・・28		<u>道路工事現場における標示施設等の設置基準</u> ・・・・・・・・・・26～27
	<u>耐圧試験写真撮影要領</u> ・・・・・・・・・・29～30		<u>配水管から水道メーターボックスまでの給水材料</u> ・・・・・・・・・・28
	<u>受水槽設備について</u> ・・・・・・・・・・31～37		<u>水道給水装置工事申込書（公道分新設記入例）</u> ・・・・・・・・・・29～32
	<u>水路（開渠）を横断する場合の上越し、下越しの基準について</u> ・・・・・・・・・・38～39		<u>水道使用申込書</u> ・・・・・・・・・・33
	<u>給水装置工事フロー図</u> ・・・・・・・・・・40		<u>調査項目と内容</u> ・・・・・・・・・・34
	<u>事前調査項目</u> ・・・・・・・・・・41		<u>道路占用許可書の写し</u> ・・・・・・・・・・35
	<u>給水装置等表示一覧</u> ・・・・・・・・・・42～43		<u>道路使用許可申請書の写し</u> ・・・・・・・・36
	<u>水道給水装置工事申込書（公道分新設記入例）</u> ・・・・・・・・・・44～47		<u>占用図面の写し</u> ・・・・・・・・・・37
	<u>分岐配管記入例</u> ・・・・・・・・・・48		<u>工事施工書（施工者用）</u> ・・・・・・・・・・38
	<u>改造図面記入例</u> ・・・・・・・・・・49		<u>工事施工書（監督用）</u> ・・・・・・・・・・39
	<u>個人管分岐からの記入例</u> ・・・・・・・・・・50		<u>公図</u> ・・・・・・・・・・40
	<u>念書作成記入例</u> ・・・・・・・・・・51		<u>共同住宅申込書作成見本（公道分新設）</u> ・・・・・・・・・・41～42
	<u>共同住宅申込書作成見本（公道分新設）</u> ・・・・・・・・・・52～53		<u>共同住宅申込書作成見本（分岐新設）</u> ・・・・・・・・・・43～45
	<u>共同住宅申込書作成見本（分岐新設）</u> ・・・・・・・・・・54～55		<u>工事施工書記入例</u> ・・・・・・・・・・46～48
	<u>水道使用申込書</u> ・・・・・・・・・・56		<u>念書作成記入例</u> ・・・・・・・・・・49
	<u>工事内容確認シート</u> ・・・・・・・・・・57		<u>改造図面記入例</u> ・・・・・・・・・・50
	<u>道路占用許可書の写し</u> ・・・・・・・・・・58		<u>ヘッダー配管記入例</u> ・・・・・・・・・・51
	<u>道路使用許可申請書の写し</u> ・・・・・・・・59		<u>個人管分岐からの記入例</u> ・・・・・・・・52
	<u>占用図面の写し</u> ・・・・・・・・・・60		
	<u>工事施工書記入例</u> ・・・・・・・・・・61～64		


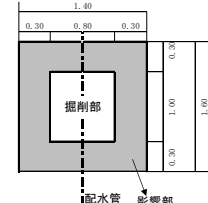
	<p>公図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 5</p> <p>工事写真表紙・・・・・・・・・・・・ 6 6</p> <p>耐圧試験報告書の表紙・・・・・・・・ 6 7</p> <p>自主検査調書・・・・・・・・・・・・ 6 8</p> <p>開発行為等における分譲地の給水計画について・・・・・・・・・・・・ 6 9</p> <p>開発行為等による宅地分譲の場合・・・・・・・・ 7 0</p> <p>配水管帰属受入フロー図・・・・・・・・ 7 1</p>		<p>給水取出し工事写真撮影要領・・・・・・・・ 5 3～5 4</p> <p>工事写真表紙・・・・・・・・・・・・ 5 5</p> <p>給水工事検査について・・・・・・・・ 5 6</p> <p>耐圧テストポンプの掛け方（一次側）・・・・ 5 7</p> <p>耐圧試験写真撮影要領・・・・・・・・ 5 8～6 1</p> <p>耐圧試験報告書の表紙・・・・・・・・ 6 2</p> <p>受水槽設備について・・・・・・・・ 6 3～6 9</p> <p>開発行為等における分譲地の給水計画について・・・・・・・・・・・・ 7 0</p> <p>開発行為等による宅地分譲の場合・・・・・・・・ 7 1</p> <p>配水管帰属受入フロー図・・・・・・・・ 7 2</p> <p>給水装置等表示一覧・・・・・・・・・・・・ 7 3</p> <p>給水装置記号の表示・・・・・・・・・・・・ 7 4</p> <p>自主検査調書・・・・・・・・・・・・ 7 5</p> <p>給水装置工事竣工検査願・・・・・・・・ 7 6</p> <p>水路（開渠）を横断する場合の上越し、下越しの基準について・・・・・・・・・・・・ 7 7～7 8</p>
p.2 上から 6行目	③ <u>工事内容確認シート</u>	p.2 上から 6行目	③ <u>調査項目と内容</u>
p.2 上から 23行目	③ <u>工事内容確認シート</u>	p.2 上から 23行目	③ <u>調査項目と内容</u>
p.5 上から 3行目	<p>(削除)</p> <p>・(削除) 下書き等は必ず消しゴムできれいに消す。</p> <p>・各記入欄への記入は印字や社名スタンプでも良い。ただし、枠からはみ出さないようにする。</p> <p>・(削除)</p> <p>・申込者(削除)には、必ずフリガナ、電話番号を記入する。</p>	p.5 上から 3行目	<p>・給水装置申込者の意思を明確にさせていただくために、申込み配管図面を申込者に確認してもらった後に、本人の署名捺印をいただく。</p> <p>・水道給水装置工事申込書は公文書になるので、下書き等は必ず消しゴムできれいに消す。</p> <p>・原則として、氏名を記入する欄は、手書きとする。会社等の場合は、社名スタンプや印字等でも良い。ただし、枠からはみ出さないようにする。</p> <p>・申込書の各所有者が法人で同一所有であれば該当する欄に「申込者に同じ」や「同上」等の記入方法を使用し、欄からはみ出さないようにする。また、会社印が重ならないようにする。(個人の場合は上記の記入方法を使用してはならない)</p> <p>・申込者、使用者には、必ずフリガナ、電話番号を記入する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水装置所在地（<u>使用場所</u>）欄は、申込地の地番が複数ある場合は全て記入する。また、<u>区画整理地内</u>の場合は従前地と仮換地を記入する。 （記入例）従前地：伊勢崎市〇〇〇町〇〇〇番地 仮換地：〇〇〇土地区画整理事業〇〇〇〇街区〇〇〇</li> <li>・申込者が土地・家屋の所有者と異なるときは使用の同意（<u>削除</u>）を得る。</li> <li>・利害関係人覧は給水装置所在地（<u>使用場所</u>）以外での利害関係人から同意を得てから記入する。</li> <li>・土地の同意の場合は、利害関係人欄の「<u>土地</u>」を丸で囲み、使用する土地の所在地・住所・氏名を記入する。</li> <li>・分岐新設、分岐改造の場合は給水管所有者から同意を得る。</li> <li>・給水管の分岐同意の場合は、利害関係人欄の「<u>分岐</u>」を丸で囲み、対象となる水栓番号・所在地・住所・氏名を記入する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水装置所在地（<u>追加</u>）欄は、申込地の地番が複数ある場合は全て記入する。（<u>追加</u>）</li> <li>・給水装置の「<u>使用者</u>」が土地・家屋の所有者と異なるときは使用の同意<u>承諾</u>を得る。</li> <li>・給水管所有者分岐同意書欄及び土地家屋使用承諾書欄には、署名捺印していただいた日付も記入してもらう。</li> <li>・土地使用承諾書には、使用する土地の町名地番等を記入する。使用する土地が給水装置所在地と同一であっても町名地番は記入する。</li> <li>・分岐新設、分岐改造の場合は給水管所有者分岐同意書にかならず署名捺印をもらう。（親管水栓番号が付いている場合には水栓番号の所に記入する。）</li> <li>・給水管所有者分岐同意書欄には、対象となる水栓番号を記入する。</li> </ul>
<p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p>		<p>p.5 下から 9行目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>使用者欄</u>は、今後給水を使用していくであろうとする人の名前を記入する。（<u>工事期間だけ使用を変更する場合は工事期間中の使用者の住所、氏名、電話番号を摘要欄にボールペンで記入する。会社等の場合は代表者名、肩書き、フリガナも記入する</u>）</li> <li>・<u>用途欄</u>の家事用以外は、用途を確認し摘要欄に<u>建物名、業種、店舗内容等を記入する。</u></li> <li>・<u>一栓取出し工事</u>で水道を使用しない場合はメーターを設置しない。水道を使用する場合（<u>工事用水、畑の散水、洗車等</u>）は念書を提出する。（<u>休止した場合はメーター返却となる</u>）</li> </ul>
<p>(削除)</p>		<p>p.6 上から 1行目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>舗装に伴う一栓取出し</u>を行う工事では、摘要欄にその旨を記入する。</li> </ul>
<p>p.5 下から 8行目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同住宅等の給水申込みでは、<u>アパート名は給水装置所在地欄に、部屋番号は部屋番号・区画番号欄に記入する。</u>散水用の水栓の場合は、<u>部屋番</u></li> </ul>	<p>p.6 上から 4行目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同住宅等の給水申込みでは、<u>部屋番号を摘要欄にボールペンで記入する。</u></li> </ul>

	号・区画番号欄に「散水栓」と記入する。		
	(削除)	p.6 上から 7行目	・共有私道に面する宅地の取出し工事は、 <u>分岐新設は不可。個々に取出し工事を行う。</u>
p.5 下から 3行目	・工事申込書は申込みする前に必ず主任技術者が <u>チェックし訂正がないようにする。</u> ・ <u>審査終了後の連絡を指定給水装置工事事業者欄の電話番号にするので、連絡の取れる電話番号を記入する。</u>	p.6 上から 10行目	・工事申込書は申込みする前に必ず主任技術者に <u>チェックしてもらい訂正がないようにする。</u> (追加)
p.6 上から 1行目	・申込み前にP41「事前調査項目」の項目について十分に調査を行い標準施工外にならないよう設計する。 <u>(削除)</u>	p.6 上から 13行目	・申込み前にP34「調査項目と内容」の項目について十分に調査を行い標準施工外にならないよう設計する。 <u>また、申込地に既存の取出しがどうか確認し、一つの敷地に取出しが重複しないようにする。</u>
p.6 上から 3行目	・ <u>図面に使用する表示は、P42・P43「給水装置等表示一覧」のとおりとする。なお、表示にない道路、河川、樹木、車庫、その他は適宜判り易いように記入する。</u>	p.6 上から 16行目	・ <u>メーター記号は、P74「給水装置記号の表示」を参考とし、メーターボックス、丙止水栓等の表示は、省略する。</u>
	(削除)	p.6 下から 16行目	・ <u>図面に使用する表示は、P73「給水装置等表示一覧」のとおりとする。なお、表示にない道路、河川、樹木、車庫、その他は適宜判り易いように記入する。</u>
p.6 上から 11行目	・ <u>取出し箇所水道以外の埋設管や暗渠等がある場合は、名称・埋設深さ・離れ・配管等を点線で記入する。</u>	p.6 下から 17行目	・ <u>取出し箇所水道以外の埋設管等がある場合は記入する。</u>
p.6 下から 6行目	・メーターを取出し部分から乙止水栓までの直線上に設置しない場合、 <u>乙止水栓の上流側の境界からメーターまでの離れの寸法を記入する。</u>	p.7 上から 8行目	・メーターを取出し部分から乙止水栓までの直線上に設置しない場合、 <u>境界からの離れの寸法を記入する。</u>
p.6 下から 2行目	・建築物完成後、 <u>(削除)自主検査調書を提出し、申込書メータオフセット記入欄にオフセットを記入する。その際、図面に変更等が生じた場合、修正した図面を提出する。</u>	p.7 上から 12行目	・建築物完成後、 <u>給水装置工事竣工検査願、自主検査調書を提出し、申込書メータオフセット記入欄にオフセットを記入する。その際、図面に変更等が生じた場合、申込書図面を修正する。</u>
p.7 上から 2行目	・ <u>(削除)図面が描ききれない場合は別紙（指定用紙）で記入する。</u>	p.6 上から 8行目	・ <u>給水装置工事申込書（裏面）で図面が描ききれない場合は別紙（指定用紙）で記入する。</u>
p.7 上から	<u>3給水材料（1次側）</u> ・ <u>分岐部分から乙止水栓下流側のフレキシブル継手</u>	p.7 上から	<u>3給水工事設計書</u> ・ <u>(追加)乙止水栓下流側のフレキシブル継手までの</u>

3行目	<p>までの使用材料を記入する。(P 1 6・P 1 8参照)</p> <p><u>・施工後変更があれば修正する。</u></p>	16行目	<p>使用材料を記入する。(P 1 6、P 1 8参照)</p> <p><u>(追加)</u></p>
p.7 上から 7行目	<p><u>4 掘削状況</u></p> <p><u>・公道取出しの掘削図を記入する。</u></p> <p><u>(削除)</u></p> <p><u>(削除)</u></p>	p.7 上から 19行目	<p><u>(追加)</u></p> <p><u>・公道取出しの掘削図、舗装復旧図等を「給水工</u> <u>設計書」の記事欄に明記する。</u></p> <p><u>・舗装復旧を側溝布設工事等の他の工事の施工者が</u> <u>行う場合、「側溝布設工事で復旧」等を記事の欄</u> <u>へ記入する(舗装復旧図等の記載は不要)</u></p> <p><u>・本復旧が他の工事の復旧と重なるときは、他の工</u> <u>事の復旧を含めた全体の大きさを記入する。</u></p>
p.7 上から 9行目	<p><u>5 念書</u></p> <p><u>・申込者の都合などで、適切な設計がなされない場</u> <u>合(受水槽の設置が望ましいが設置できない場</u> <u>合、口径増大が望ましいが増大しない場合、メー</u> <u>ターを標準と異なる位置に設置する場合等)に</u> <u>は、念書または理由書等を自署捺印(法人の場合</u> <u>は社名スタンプでも良い。印鑑は代表者印を押印</u> <u>する。)の後に三者(申込者、上下水道局、工事</u> <u>店)の確認を得る。</u></p>	p.7 下から 14行目	<p><u>(追加)</u></p> <p><u>・申込者の都合などで、適切な設計がなされない場</u> <u>合(受水槽の設置が望ましいが設置できない場</u> <u>合、口径増大が望ましいが増大しない場合、メー</u> <u>ターを標準と異なる位置に設置する場合等)に</u> <u>は、念書または理由書等を自署捺印(追加)の後</u> <u>に三者(申込者、上下水道局、工事店)の確認を</u> <u>得る。</u></p>
p.7 上から 15行目	<p><u>6 貯水槽(受水槽)についての注意</u></p> <p><u>・貯水槽には、ウォーターハンマーを防止するため</u> <u>波よけ板、水撃防止器を必ず設置し、給水管の口</u> <u>径が25mm以上は定水位弁、フレキシブルジョイ</u> <u>ントを設置する。バキュームブレーカは必要に応</u> <u>じて設置する。設置した器具を図面に記入する。</u></p>	p.7 下から 10行目	<p><u>4 貯水槽(受水槽)についての注意</u></p> <p><u>・貯水槽には、定水位弁、波よけ板、バキュームブ</u> <u>レーカ、フレキシブルジョイント、ウォーターハ</u> <u>ンマーを防止するための水撃防止器を必ず設置</u> <u>する。図面にもそれらの器具を記入する。</u></p>
p.7 下から 11行目	<p><u>7 耐圧試験および写真管理</u></p> <p><u>・耐圧試験の手順及び写真の撮影法については、P</u> <u>27「給水工事検査について」・P28「耐圧テ</u> <u>ストポンプの掛け方(1次側)」及びP29・3</u> <u>0「耐圧試験写真撮影要領」の通りに行う。</u></p>	p.8 上から 1行目	<p><u>5 耐圧試験および写真管理</u></p> <p><u>・耐圧試験の手順及び写真の撮影法については、P</u> <u>56「給水工事検査について」・P57「耐圧テ</u> <u>ストポンプの掛け方(1次側)」及びP58「耐</u> <u>圧試験写真撮影要領」の通りに行う。</u></p>
	<p><u>(削除)</u></p>	p.8 上から 10行目	<p><u>・水道給水装置工事届済看板は現場に設置した状況</u> <u>を撮影する。</u></p>
p.8 上から 2行目	<p><u>・共同住宅等については、給水主管の第一乙止水栓</u> <u>以降耐圧テストを行い写真提出する。(メーターの</u> <u>二次側について提出は不要)</u></p>	p.8 上から 15行目	<p><u>・共同住宅等については、メイン管の第一乙止水栓</u> <u>以降耐圧テストを行い写真提出する。(メーター</u> <u>の二次側について提出は不要)</u></p>

p.8 上から 4行目	8 工事施工書	p.8 上から 17行目	6 工事施工書								
p.8 上から 16行目	・主任技術者が記入内容を確認すること。	p.8 下から 11行目	・主任技術者が記入内容を確認し認印を押すこと。								
p.8 上から 18行目	・申込時は設計の図面を記入する。施工後、図面を修正して提出する。 ・配水管等の分岐から立ち上がりまでの延長、立ち上りの延長、立ち上がりから宅内止水栓までの各延長等を記入する（切り管延長を記入しない）。 管種（フレキシブル継手と分けて記入）・口径・給水管深さを記入する。 <u>(削除)</u>	p.8 下から 9行目	・施工後に記入する。 ・配水管等から立ち上がり、宅内止水栓までの各延長、管種（フレキシブル継手と分けて記入）・口径・給水管深さを記入する。 ・切り管延長でなくつないだ管の芯までの寸法を記入する。								
	<u>(削除)</u>	p.9 上から 2行目	<p>(既設道路の舗装構成)</p> <p>参考) 道路構成</p> <p>舗装厚 = 路盤厚 + アスファルト厚</p> <p>既設道路の舗装構成の記入例</p> <p>施工書には既存の舗装厚を記入すること。</p> <p>舗装厚 = 路盤厚 + アスファルト厚で記入 例えば路盤26cm、アスファルト4cmなら 舗装厚 = 0.26 + 0.04</p> <table border="1"> <tr> <td>既設舗装厚</td> <td>t=0.30m</td> </tr> <tr> <td>既設路盤厚</td> <td>t=0.26m</td> </tr> </table> <p>路盤施工済み砂利道で、路盤26cmなら</p> <table border="1"> <tr> <td>既設舗装厚</td> <td>t=0.26m</td> </tr> <tr> <td>既設路盤厚</td> <td>t=0.26m</td> </tr> </table>	既設舗装厚	t=0.30m	既設路盤厚	t=0.26m	既設舗装厚	t=0.26m	既設路盤厚	t=0.26m
既設舗装厚	t=0.30m										
既設路盤厚	t=0.26m										
既設舗装厚	t=0.26m										
既設路盤厚	t=0.26m										
p.8 下から 12行目	・水道以外の埋設管や暗渠等がある場合は、名称・埋設深さ・離れ・配管等を記入する。	p.8 下から 1行目	(追加)								
p.8 下から 10行目	・道路後退がある場合は幅員を記入する。	p.9 上から 2行目	(追加)								
p.8 下から 8行目	・工事完了後5営業日以内に、給水取出し工事写真・耐圧試験報告書・給水取出し工事写真チェックシート・耐圧試験写真チェックシートと一緒に提出する。（様式は市のホームページからダウンロードするか、上水道整備課給水係の窓口で受け取ってください。）	p.9 下から 20行目	・工事完了後5日以内に、給水取出し工事写真・耐圧試験報告書・給水取出し工事写真チェックシート・耐圧試験写真チェックシートと一緒に提出する。（様式は市のホームページからダウンロードするか、上水道整備課給水係の窓口で受け取ってください。）								

p.8 下から 5行目	9 施工 (公道)	p.9 下から 16行目	7 施工 (公道)
p.9 下から 18行目	( <u>削除</u> )  ・公道等で給水管の立ち上げ・立ち下げしない。ただし、現場の状況により必要な場合は施工前に局担当者・ <u>道路管理者</u> と打合せする。	p.10 上から 13行目	・ <u>道路上に止水栓を設置する場合は、立ち上がりを設けず止水栓を深くしたまま、継足し筐を使用し高さ調整する。</u>  ・公道等で給水管の立ち上げ・立ち下げしない。ただし、現場の状況により必要な場合は施工前に局担当者( <u>追加</u> )と打合せする。
p.9 下から 14行目	・他の地下埋設物を発見した時は監督員に報告し、 <u>施工書の断面図に名称・埋設深さ・離れ・配管等を記入する。</u>	p.10 上から 19行目	・他の地下埋設物を発見した時は監督員に報告し、 <u>施工書に構造、形状、埋設位置及び深さを記入する。</u>
p.9 下から 2行目	( <u>掘削・埋戻し・舗装復旧</u> )  ・取出し小穴には、必要以上のカッターを入れない。 ・掘削断面は垂直に掘り下げる。 ・ <u>サドル付分水栓が小穴の端にきてしまう場合は、小穴を広げる。広げた小穴から継手等が出てきた場合は有効長で30cm以上の離隔をとる。</u>	p.10 下から 9行目	( <u>掘削及び埋戻し</u> )  ・取出し小穴には、必要以上のカッターを入れない。 ・掘削断面は垂直に掘り下げる。  ( <u>追加</u> )
p.10 上から 13行目	・ <u>深さ管理は、配水管上でスタッフ等を使用し正確に測る。</u> ・ <u>粒調碎石厚が15cm以上の場合は、15cm以下の2層以上で埋戻し転圧する。</u> ・ <u>路盤とアスファルトの復旧厚は道路管理者に確認する。</u> ・ <u>アスファルトは加熱材料を使用する(常温合材使用禁止)。</u> ・ <u>乳剤散布は十分に行う。</u> ・ <u>舗装復旧後、指定店番号を青色でマーキングする。</u>  ・舗装復旧においても区画線・道路標示を必ず復旧する。 ・ <u>舗装本復旧についても道路管理者の指示の通り施工する。</u>	p.11 上から 4行目	( <u>追加</u> )  ( <u>追加</u> )  ( <u>追加</u> )  ( <u>追加</u> )  ( <u>追加</u> )  ( <u>追加</u> )  ・舗装復旧においても区画線・道路標示を必ず復旧する。  ( <u>追加</u> )  ( <u>追加</u> )
	<p>舗装復旧標準図</p> <p>復旧 平面図</p>  <p>本復旧 平面図</p> 		

	<p>掘削埋戻し標準断面図（表層5cm路盤10cmの例）</p> <p>仮復旧断面図</p> <p>本復旧断面図</p> <p>砕石の埋戻し(転圧)は、1層を20cm以下 洗砂の埋戻し(転圧)は、1層を30cm以下</p>		(追加)
p. 11 下から 23行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前調査を入念に行い、工事終了後に取出し位置や止水栓設置位置に変更が生じないように設計する。<u>(事前調査項目参照)</u></li> </ul>	p. 11 上から 6行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前調査を入念に行い、工事終了後に取出し位置や止水栓設置位置に変更が生じないように設計する。<u>(調査項目と内容参照)</u></li> </ul>
p. 11 下から 19行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事看板は指定された看板を施工時に工事カ所に設置する。(P 2 3参照)</li> <li>許可書類はP 2 4「各種許可書掲示」を参考に掲示し工事看板に貼付けない。</li> </ul>	p. 11 上から 10行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事看板は指定された看板を施工時に工事カ所に設置する。(P 2 6参照)</li> <li>許可書類はP 2 7「各種許可書掲示」を参考に掲示し工事看板に貼付けない。</li> </ul>
p. 11 下から 12行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>給水管引込み位置を明確にするため、給水管布設後速やかに側溝・地先ブロック等がある場所はセーフティマーク、側溝等がない場所は<u>官民境界の民地側</u>に明示杭を設置する。</li> </ul>	p. 11 上7か ら 17行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>給水管引込み位置を明確にするため、給水管布設後速やかに側溝・地先ブロック等がある場所はセーフティマーク、側溝等がない場所は<u>(追加)</u>に明示杭を設置する。</li> </ul>
p. 11 下から 10行目	10 施工（宅内）	p. 11 上から 19行目	8 施工（宅内）
p. 11 下から 5行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同住宅等で宅地内の分岐を必要とする場合は、<u>給水主管</u>の埋設深さは、0.6m以上とし、境界からの離隔は0.5m以上とする。また、<u>給水主管</u>から分岐する場合は、分岐管（分岐直近部）に止水栓を設置する。</li> </ul>	p. 11 下から 15行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同住宅等で宅地内の分岐を必要とする場合は、<u>メイン管</u>の埋設深さは、0.6m以上とし、境界からの離隔は0.5m以上とする。また、<u>メイン管</u>から分岐する場合は、分岐管（分岐直近部）に止水栓を設置する。</li> </ul>
	(削除)	p. 12 上から 6行目	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>铸铁製メーターボックス</u>を設置する場合は<u>申込み前に必ず局担当者</u>と打ち合わせをする。</li> </ul>
p. 12 上から 1行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同住宅等で第一乙止水栓から各部屋等の分岐箇所までの配管について、配管を曲げて布設する箇所にはセーフティマーク又は明示杭を設置する。</li> </ul>		(追加)
p. 12 上から 5行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>改造工事等で申込みする場合、既存の止水栓・メーター器の位置・深さが施工基準と異なっている場合は、基準通りに設置し直す。また、道路後退があった場合は止水栓を基準位置に後退させる。</li> </ul>	p. 11 下から 8行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>改造工事等で申込みする場合、既存の止水栓・メーター器の位置<u>(追加)</u>が施工基準と異なっている場合は、基準通りに設置し直す。また、道路後退があった場合は止水栓を基準位置に後退させ</li> </ul>



			る。
p.12 下から 19行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メーター以降の配管は原則埋設とする。申込み時に局担当者と協議の上屋外露出配管とする場合には、<u>ライニング鋼管 (VD・VB)</u> とし、保温巻等の凍結防止対策をする。</li> <li>・メーター器二次側以降のバルブはボールバルブ又はゲートバルブ (10K砲金製) を使用し <u>(削除)</u>、それ以後にどのような給水装置を設置するかを記入する。(2階用・地階用含む) 尚、バルブ止めの場合は逆止弁付ボールバルブとする。(申込み前に必ず局担当者と協議する)</li> </ul>	p.12 上から 13行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メーター以降の配管は原則埋設とする。申込み時に局担当者と協議の上屋外露出配管とする場合には、<u>内外面ライニング鋼管 (VD)</u> とし、保温巻等の凍結防止対策をする。</li> <li>・メーター器二次側以降のバルブはボールバルブ又はゲートバルブ (10K砲金製) を使用し <u>(スリースバルブは使用禁止)</u>、それ以後にどのような給水装置を設置するかを記入する。(2階用・地階用含む) 尚、バルブ止めの場合は逆止弁付ボールバルブとする。(申込み前に必ず局担当者と協議する)</li> </ul>
p.12 下から 12行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階立ち上がり手前には、必ずボールバルブを設ける。<u>(削除)</u></li> </ul>	p.12 上から 21行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階立ち上がり手前には、必ずボールバルブを設ける。<u>(スリースバルブは使用禁止)</u></li> </ul>
p.12 下から 9行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物内部の配管は<u>防寒対策を実施する。また、HIVP管は使用しない。</u></li> </ul>	p.12 上から 26行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物内部の配管は<u>内面ライニング鋼管 (VD・VB) 以上 (HIVP は使用禁止) を使用し防寒対策を実施する。</u></li> </ul>
	<u>(削除)</u>	p.12 下から 5行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「給水装置工事届出済」看板は工事期間中現場に<u>掲出しておく。</u></li> </ul>
p.13 上から 1行目	<u>11 自主検査調書</u>	p.12 下から 4行目	<u>9 自主検査調書</u>
	<u>(削除)</u>	p.12 下から 2行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認欄へ記入 (検査確認した事項に○、該当しない項目に斜線) する。</li> </ul>
	<u>(削除)</u>	p.13 上から 1行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受水槽がある場合は実容量を記入する。</li> </ul>
	<u>(削除)</u>	p.10 下から 15行目	<u>10 給水装置工事竣工検査願</u>
p.13 上から 5行目	<u>12 穿孔作業や施工中の配水管の破損事故等による濁り水の発生や断水について</u>	p.13 上から 4行目	<u>11 穿孔作業や施工中の配水管の破損事故等による濁り水の発生や断水について</u>
p.13 上から	<u>13 分水止め</u>	p.13 上から	<u>12 分水止め</u>

12行目		4行目	
p.13 上から 18行目	<u>14 給水取出し</u> <u>・給水取出しした給水管については上下水道局で自然漏水等の修理を行うため、一敷地に重複して給水取出しはできない。給水取出し工事の申込をする場合は既存の給水取出しがないか確認すること。</u> <u>・既設の給水取出しについて給水装置の所有者が配水管又は連合管から分岐するところで切り離す工事を行っても、別の敷地で給水取出しする場合は加入金を納入する。</u>		<u>(追加)</u>
p.13 下から 6行目	<u>15 無断通水（盗水）防止について</u>	p.13 下から 7行目	<u>13 無断通水（盗水）防止について</u>
p.14	(頁移動)	p.28	(頁移動)
p.15	<u>⑤</u> <u>⑨</u> <u>⑩</u> (止水栓筐の蓋の向き) 追加 (止水栓の位置) 追加 (止水栓の深さ「 <u>0.6m以上</u> 」) (官民境界から配水管までの離れ) 削除	p.15	<u>⑨</u> <u>⑩</u> <u>⑪</u> (止水栓の深さ「 <u>0.6m</u> 」)

p. 16

(高密度ポリエチレン管(JIS外径)の記入例) (青ポリ)

給水材料 (1次側)			損削状況
品名	規格	数量	
ボール式ハンドル分水栓	HPPE φ75×20 ①	1	
継ぎ付チーブ			
止水栓	20 ②	1	
止水栓蓋	鍍鉄製 ③	1	
止水栓	巾 ④	1	
ポリオガレン管	20 HPPE JIS外径 ⑤	1.0	
フタマット	20 EFA912-7'ポイント ⑥	2	
エルボ	20 EF ⑦	2	
Y口管			
フレキシブル継手 (公簿)	20×500L ⑧	1	
フレキシブル継手 (宅内)	20×1000L ⑨	1	
特殊耐丁手管			
既設埋蔵パイプマーク	水色 ⑩	1	

申込者  
 住所  
 品名

指定給水装置工事業者

p. 16

給水工事設計書 (高密度ポリエチレン管(JIS外径)の記入例) (青ポリ)

給水材料 (1次側)			損削状況
品名	規格	数量	
ボール式ハンドル分水栓	HPPE φ75×20 ①	1	
継ぎ付チーブ			
止水栓	20 ②	1	
止水栓蓋	鍍鉄製 ③	1	
止水栓	巾 ④	1	
ポリオガレン管	20 HPPE JIS外径 ⑤	1.0	
フタマット			
エルボ	20 EF ⑦	2	
Y口管			
フレキシブル継手 (公簿)	20×500L ⑧	1	
フレキシブル継手 (宅内)	20 HPPE JIS外径 ⑨	1.5	
フレキシブル継手 (宅内)	20×1000L ⑩	1	
特殊耐丁手管			
既設埋蔵パイプマーク	水色 ⑩	1	
農林漁小次及掘削工		1	
埋設管継ぎ手 (下層)	⑫	0.8	
埋設管継ぎ手 (上層)	⑬	0.8	
埋設管継ぎ手 (中層)	⑭	3.6	
交通安全対策		1	

検査年月日 年 月 日  
 備考  
 申込者  
 住所  
 氏名  
 指定給水装置工事業者

残留塩素検出量 mg/L 年 月 日  
 課長 審査 検査 受付

p. 17

- ⑤
- ⑨
- ⑩
- (止水栓蓋の蓋の向き) 追加
- (止水栓の位置) 追加
- (止水栓の深さ「0.6m以上」)
- (官民境界から配水管までの離れ) 削除

p. 17

- ⑨
- ⑩
- ⑪
- (止水栓の深さ「0.6m」)

(水道用ポリエチレン二層管(1種2層管)の記入例) (黒ポリ)

給水材料 (1次側)			挿入状況
品名	規格	数量	
ボール式サドル分水器	HPPE φ75×20 ①	1	
継ぎ付サズ			
止水栓	20 ②	1	
止水栓蓋	錆鉄製 ③	1	
止水栓	中 ④	1	
ポリエチレン管	20 JIS K 6762 ⑤	1	
フタット	20コア一体型ノ1用 ⑥	1	
エルボ	20コア一体型 ⑦	2	
V口管			
フレキシブル継手 (公道)	20×500L ⑧	1	
フレキシブル継手 (宅内)	20×1000L ⑨	1	
特殊加工水管			
既又はシーアディマーク	水色 ⑩	1	

注意

申込者  
住所  
氏名

指定給水装置工事業者

給水工事設計書 (水道用ポリエチレン二層管(1種2層管)の記入例) (黒ポリ)

品名	規格	数量	公差	規格	延長
ボール式サドル分水器	HPPE75×20 ①	1		HPPE 75	1.0 m
継ぎ付サズ				配水管	HPPE 75
止水栓	20 ②	1		引込口径	20 mm
止水栓蓋	錆鉄製 ③	1		<b>摘要</b> 1. 道路管埋設の条件により、埋設深度は下記のとおり。	
止水栓	中 ④	1			
ポリエチレン管 (公道)	20 JIS K 6762 ⑤	1.0			
フタット					
エルボ	20 コア一体型 ⑦	2			
V口管					
フレキシブル継手 (公道)	20×500L ⑧	1			
ポリエチレン管 (宅内)	20 JIS K 6762 ⑨	1.5			
フレキシブル継手 (宅内)	20×1000L ⑩	1			
特殊加工水管					
既又はシーアディマーク	水色 ⑩	1			
貫孔機小穴及加工工		1			
道路埋設深 (下層)		0.8			
道路埋設深 (上層)		0.8			
道路木造埋設深		3.6			
交通定歩数		1			

検査年月日 年 月 日

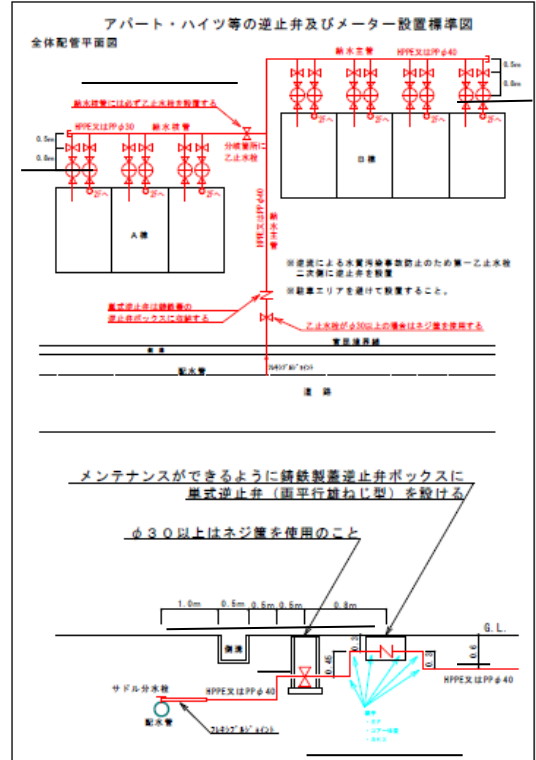
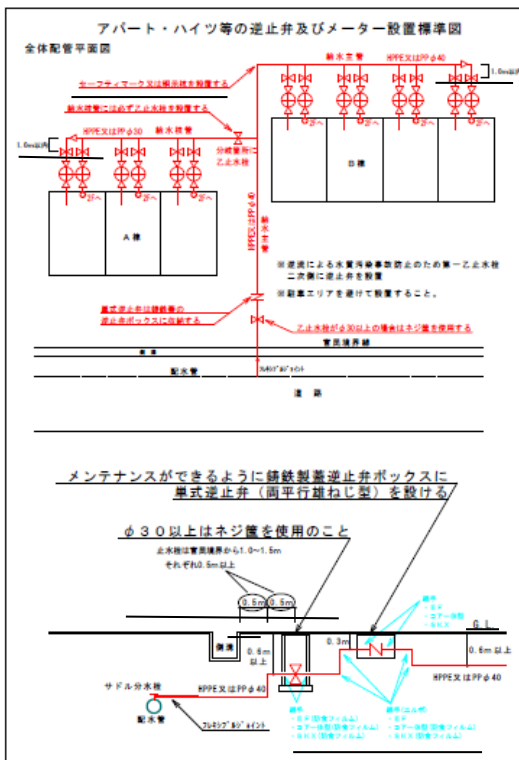
備考

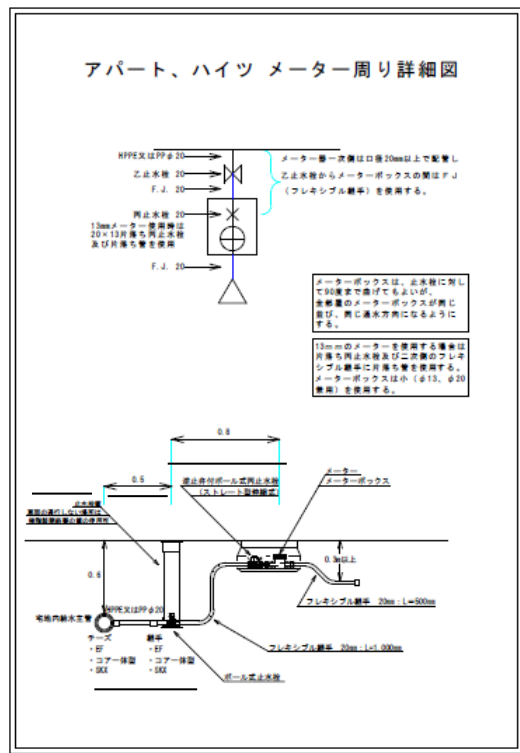
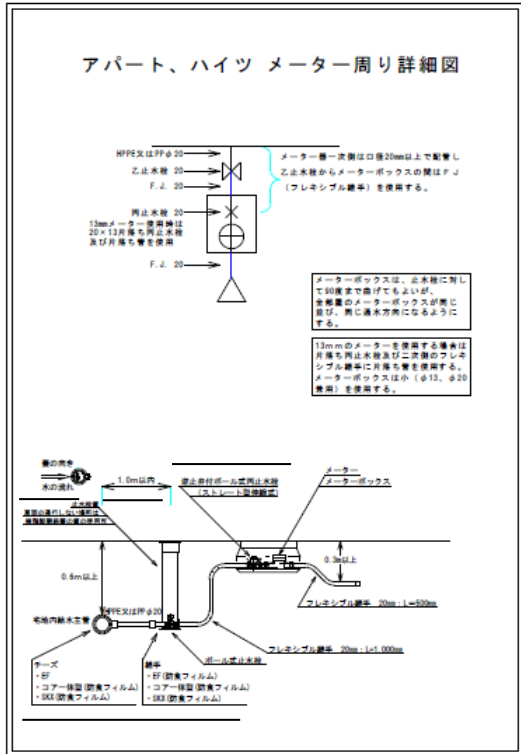
申込者  
住所  
氏名  
指定給水装置工事業者

検査

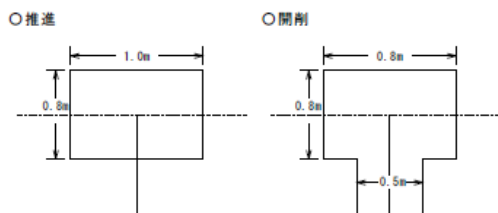
残留塩素検出量 mg/L 年 月 日

課長 審査 検査 受付

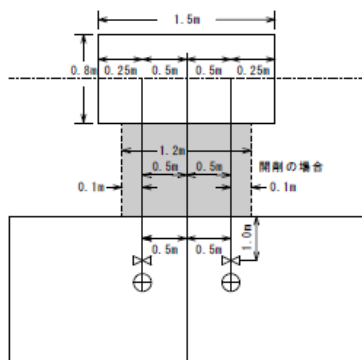




### 給水工事における掘削小穴

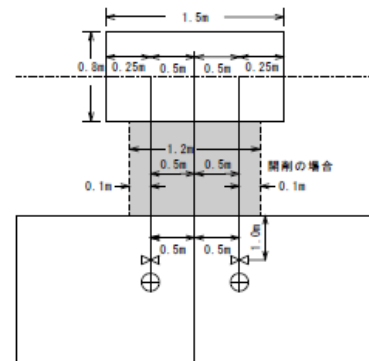


#### ○ 1つの小穴で2箇所を取出す場合



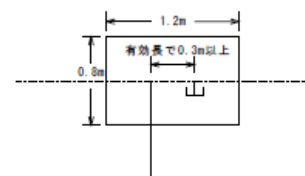
- ※ サドルとサドルの端面の間にスタッフを当てた写真を提出する。
- ※ サドルから乙止水栓までは真っ直ぐに施工する。
- ※ 隅切り等がある場合は別途協議する。

#### ○ 1つの小穴で2箇所を取出す場合

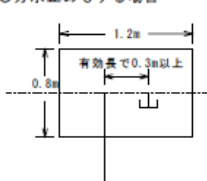
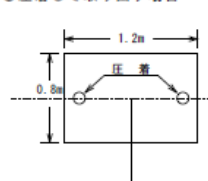
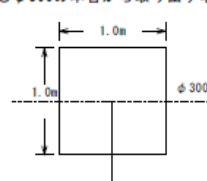
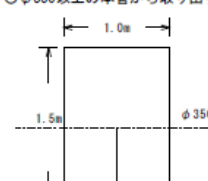
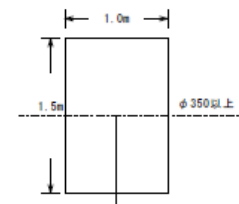
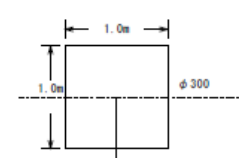
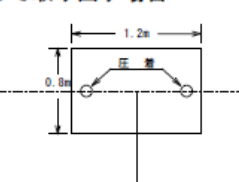


- ※ サドルとサドルの端面の間にスタッフを当てた写真を提出する。
- ※ サドルから乙止水栓までは真っ直ぐに施工する。
- ※ 隅切り等がある場合は別途協議する。

#### ○ 1つ小穴で分水止めもする場合



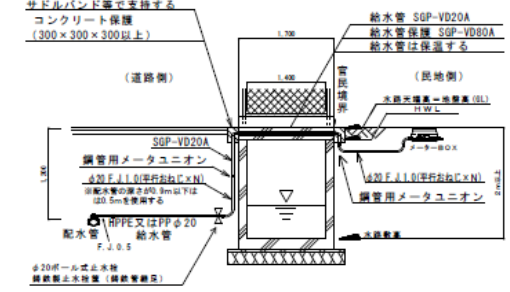
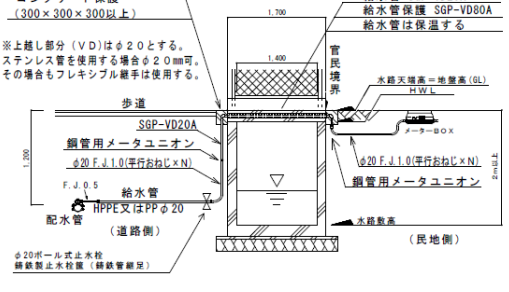
- ※ サドルとサドルの端面の間にスタッフを当てた写真を提出する。

<p>p. 22</p>	<p>○分水止めもする場合</p>  <p>有効長で0.3m以上</p> <p>※ サドルとサドルの端面の間にスタッフを当てた写真を撮る。</p> <p>○圧着して取り出す場合</p>  <p>圧着</p> <p>※ 小穴に役物が出てきたときに、役物と圧着箇所の距離を有効長で0.3m以上離せない場合は、有効長0.3m以上離れるよう小穴を広げる。</p> <p>○φ300の本管から取り出す場合</p>  <p>φ300</p> <p>○φ350以上の本管から取り出す場合</p>  <p>φ350以上</p>	<p>p. 25</p> <p>○ φ350以上の本管から取り出す場合</p>  <p>φ350以上</p> <p>○ φ300の本管から取り出す場合</p>  <p>φ300</p> <p>○ 圧着して取り出す場合</p>  <p>圧着</p> <p>※ 小穴に役物が出てきたときに、役物と圧着箇所の距離を有効長で0.3m以上離せない場合は、有効長で0.3m以上離れるよう小穴を広げる。</p>	
<p>p. 23</p>	<p>(頁移動)</p>	<p>p. 26</p>	<p>(頁移動)</p>
<p>p. 24</p>	<p>(頁移動)</p>	<p>p. 27</p>	<p>(頁移動)</p>
<p>p. 25</p>	<p>(頁移動)</p>	<p>p. 53</p>	<p>(頁移動)</p>
<p>p. 26 上から 13行目</p>	<p>7 仮復旧と指定工事業者番号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮復旧の写真は、復旧箇所の縦・横にスタッフ又は帯広テープを当て、長さが確認できるようにし、道路に指定工事業者番号を青色でペイントし、小黒板を入れて撮る。</li> <li>仮復旧は加熱アスファルトを使い（常温合材は使用禁止）粒調砕石の上に乳剤を散布し、その散布後の状況写真を撮る。</li> <li>仮復旧完成時、路側線・センターライン等も復旧し、既存道路との境目に乳剤で目地をし、その上に砂で養生した完成写真を撮る。</li> </ul>	<p>p. 54 上から 13行目</p> <p>7 一次復旧と指定工事業者番号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一次復旧の写真は、復旧箇所の縦・横にスタッフ又は帯広テープを当て、長さが確認できるようにし、道路に指定工事業者番号を青色でペイントし、小黒板を入れて撮る。</li> <li>一次復旧は加熱アスファルトを使い（常温合材は使用禁止）粒調砕石の上に乳剤を散布し、その散布後の状況写真を撮る。</li> <li>一次復旧完成時、路側線・センターライン等も復旧し、既存道路との境目に乳剤で目地をし、その上に砂で養生した完成写真を撮る</li> </ul>	
<p>p. 26 下から 13行目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路側溝が存在しない場所で地先ブロックがある場所はセーフティマークを打ち込み、それ以外は官民境界の民地側に「明示杭」を打ち込み小黒板を入</li> </ul>	<p>p. 54 下から 15行目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路側溝が存在しない場所で地先ブロックがある場所はセーフティマークを打ち込み、それ以外は官民境界(追加)に「明示杭」を打ち込み小黒板を入</li> </ul>	













	<p>れ完了写真を撮る。</p> <p><u>(省略)</u></p> <p><u>(削除)</u></p> <p><u>1 0</u> (省略)</p> <p><u>1 1</u> (省略)</p> <p><u>1 2</u> (省略)</p>		<p>完了写真を撮る。</p> <p><u>(省略)</u></p> <p><u>1 0</u> <u>水道給水装置工事届済看板</u></p> <p><u>・水道給水装置工事届済看板を現場止水栓又はメーターボックス付近に設置し写真を撮る。</u></p> <p><u>1 1</u> (省略)</p> <p><u>1 2</u> (省略)</p> <p><u>1 3</u> (省略)</p>											
p. 27	(頁移動)	p. 56	(頁移動)											
p. 28	(頁移動)	p. 57	(頁移動)											
p. 29	<p>耐圧試験写真撮影要領</p> <p>1 全景 (加圧前) 写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任技術者が写る</li> <li>・テストポンプとメーター接続用フレキシブル継手を接続した状態で撮る</li> <li>・圧力計の値は0 MP a で撮る</li> </ul> <p>※写真が不鮮明な場合は拡大した写真を撮影する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小黒板を入れて撮る</li> </ul> <p>小黒板記入例</p> <table border="1"> <tr> <td>年 月 日</td> <td>○年 ○月 ○日</td> </tr> <tr> <td>工 事 名</td> <td>○○邸新築給水設備工事</td> </tr> <tr> <td>工事箇所</td> <td>伊勢崎市○○町○○番地</td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td>耐圧試験</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>装置取付状況・主任技術者立会い</td> </tr> <tr> <td>指定工事業者</td> <td>(株) ○○設備工業</td> </tr> </table> <p>2 テストポンプの加圧完了直後の写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圧力計の値を 1.75 MP a まで加圧して撮る</li> </ul> <p>※写真が不鮮明な場合は拡大した写真を撮影する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査時の状況が確認できるように撮る</li> </ul> <p>※圧力計だけを写さないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小黒板を入れる</li> </ul>	年 月 日	○年 ○月 ○日	工 事 名	○○邸新築給水設備工事	工事箇所	伊勢崎市○○町○○番地	工 種	耐圧試験	内 容	装置取付状況・主任技術者立会い	指定工事業者	(株) ○○設備工業	<p>p. 58</p> <p>耐圧試験写真撮影要領</p> <p>No. 1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">写 真</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全景写真 (メーターボックスを入れる)</li> <li>○主任技術者立会い (写真に入る)</li> <li>○一次側耐圧試験はメーター接続用フレキシブル継ぎ手に接続する</li> </ul> <p>○取り付け状況及びテストポンプの状況加圧前 0 MP a</p> <p>○小黒板に状況記入する</p> <p>No. 2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">写 真</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○加圧状況写真 1.75 MP a</li> <li>○小黒板に状況記入する</li> <li>○検査時にその実態が明確に確認できるように撮影する</li> </ul> <p>No. 3</p>
年 月 日	○年 ○月 ○日													
工 事 名	○○邸新築給水設備工事													
工事箇所	伊勢崎市○○町○○番地													
工 種	耐圧試験													
内 容	装置取付状況・主任技術者立会い													
指定工事業者	(株) ○○設備工業													

	<p>小黑板記入例</p> <table border="1"> <tr> <td>年 月 日</td> <td>○年 ○月 ○日</td> </tr> <tr> <td>工 事 名</td> <td>○○邸新築給水設備工事</td> </tr> <tr> <td>工事箇所</td> <td>伊勢崎市○○町○○番地</td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td>耐圧試験</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>加圧状況 1.75MP a</td> </tr> <tr> <td>指定工事業者</td> <td>(株)○○設備工業</td> </tr> </table>	年 月 日	○年 ○月 ○日	工 事 名	○○邸新築給水設備工事	工事箇所	伊勢崎市○○町○○番地	工 種	耐圧試験	内 容	加圧状況 1.75MP a	指定工事業者	(株)○○設備工業		<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">写 真</td> <td> <p>○加圧後 1 分間経過写真 (1.75 MP a より下がらないこと) ○ 小黑板に状況記入する ○ 検査時にその実態が明確に確認できるように撮影する</p> </td> </tr> </table>	写 真	<p>○加圧後 1 分間経過写真 (1.75 MP a より下がらないこと) ○ 小黑板に状況記入する ○ 検査時にその実態が明確に確認できるように撮影する</p>																
年 月 日	○年 ○月 ○日																																
工 事 名	○○邸新築給水設備工事																																
工事箇所	伊勢崎市○○町○○番地																																
工 種	耐圧試験																																
内 容	加圧状況 1.75MP a																																
指定工事業者	(株)○○設備工業																																
写 真	<p>○加圧後 1 分間経過写真 (1.75 MP a より下がらないこと) ○ 小黑板に状況記入する ○ 検査時にその実態が明確に確認できるように撮影する</p>																																
p.30	<p>3 加圧後 1 分間経過後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圧力計の値が 1.75 MP a より低くてもよいが保持している状態で撮る</li> <li>・検査時の状況が確認できるように撮る ※圧力計だけを写さないようにする</li> <li>・小黑板を入れる</li> </ul> <p>小黑板記入例</p> <table border="1"> <tr> <td>年 月 日</td> <td>○年 ○月 ○日</td> </tr> <tr> <td>工 事 名</td> <td>○○邸新築給水設備工事</td> </tr> <tr> <td>工事箇所</td> <td>伊勢崎市○○町○○番地</td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td>耐圧試験</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>1 分経過後 1.75MP a</td> </tr> <tr> <td>指定工事業者</td> <td>(株)○○設備工業</td> </tr> </table> <p>4 (加圧後 1 分間経過後の) 圧力計の拡大写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圧力計の値が 1.75 MP a より低くてもよいが保持している状態で撮る</li> <li>・小黑板を入れる</li> </ul> <p>小黑板記入例</p> <table border="1"> <tr> <td>年 月 日</td> <td>○年 ○月 ○日</td> </tr> <tr> <td>工 事 名</td> <td>○○邸新築給水設備工事</td> </tr> <tr> <td>工事箇所</td> <td>伊勢崎市○○町○○番地</td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td>耐圧試験</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>圧力計拡大 1.75MP a</td> </tr> <tr> <td>指定工事業者</td> <td>(株)○○設備工業</td> </tr> </table> <p>5 「指定工事業者シール」貼付状況 ※工事写真に含まれていれば、耐圧試験の写真では</p>	年 月 日	○年 ○月 ○日	工 事 名	○○邸新築給水設備工事	工事箇所	伊勢崎市○○町○○番地	工 種	耐圧試験	内 容	1 分経過後 1.75MP a	指定工事業者	(株)○○設備工業	年 月 日	○年 ○月 ○日	工 事 名	○○邸新築給水設備工事	工事箇所	伊勢崎市○○町○○番地	工 種	耐圧試験	内 容	圧力計拡大 1.75MP a	指定工事業者	(株)○○設備工業	p.59	<p>No. 4</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">写 真</td> <td> <p>○圧力計の拡大写真 1.75 MP a ○小黑板に状況を記入する ○検査時にその実態が明確に確認できるように撮影する</p> </td> </tr> </table> <p>No. 5</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">写 真</td> <td> <p>○「水道給水装置届出済」看板設置状況写真 (取出し工事のない改造工事の場合は必要に応じて竣工時に提出)</p> </td> </tr> </table> <p>No. 6</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">写 真</td> <td> <p>○「指定工事業者シール」貼付状況写真 (取出し工事のない改造工事の場合は必要に応じて竣工時に提出)</p> </td> </tr> </table>	写 真	<p>○圧力計の拡大写真 1.75 MP a ○小黑板に状況を記入する ○検査時にその実態が明確に確認できるように撮影する</p>	写 真	<p>○「水道給水装置届出済」看板設置状況写真 (取出し工事のない改造工事の場合は必要に応じて竣工時に提出)</p>	写 真	<p>○「指定工事業者シール」貼付状況写真 (取出し工事のない改造工事の場合は必要に応じて竣工時に提出)</p>
年 月 日	○年 ○月 ○日																																
工 事 名	○○邸新築給水設備工事																																
工事箇所	伊勢崎市○○町○○番地																																
工 種	耐圧試験																																
内 容	1 分経過後 1.75MP a																																
指定工事業者	(株)○○設備工業																																
年 月 日	○年 ○月 ○日																																
工 事 名	○○邸新築給水設備工事																																
工事箇所	伊勢崎市○○町○○番地																																
工 種	耐圧試験																																
内 容	圧力計拡大 1.75MP a																																
指定工事業者	(株)○○設備工業																																
写 真	<p>○圧力計の拡大写真 1.75 MP a ○小黑板に状況を記入する ○検査時にその実態が明確に確認できるように撮影する</p>																																
写 真	<p>○「水道給水装置届出済」看板設置状況写真 (取出し工事のない改造工事の場合は必要に応じて竣工時に提出)</p>																																
写 真	<p>○「指定工事業者シール」貼付状況写真 (取出し工事のない改造工事の場合は必要に応じて竣工時に提出)</p>																																



	提出不要		
p. 31	(頁移動)	p. 63	(頁移動)
p. 32	(頁移動)	p. 64	(頁移動)
p. 33	(頁移動)	p. 65	(頁移動)
p. 34	(頁移動)	p. 66	(頁移動)
p. 35	(頁移動)	p. 67	(頁移動)
p. 36	(頁移動)	p. 68	(頁移動)
p. 37	(頁移動)	p. 69	(頁移動)
p. 38	(頁移動)	p. 77	(頁移動)
p. 39	(上越し参考図) 	p. 78	(上越し参考図) 
p. 40	事前調査 上から 1 段目 左から 2 囲目	事前調査 上から 1 段目 左から 2 囲目	事前調査 調査項目と内容をもとにして申込者・上水道整備課・ <u>現地にて確認作業を行う。</u> 調査項目と内容をもとにして申込者・上水道整備課・ <u>現地にて確認作業。この時点で「調査項目と内容」を完成させる。</u>
p. 40	設計及び申込書作成 上から 1 段目 左から 3 囲目	設計及び申込書作成 上から 1 段目 左から 3 囲目	設計及び申込書作成 水道給水装置工事申込書(削除)等の書類作成 水道給水装置工事申込書・ <u>工事施工書</u> ・ <u>給水工事設計書</u> 等の書類作成

p. 40 上から 2 段目 左から 2 罫目	給水装置工事申込書に必要書類を全て添付して <u>申込みをした日から 4 営業日後まで内容確認</u> します。	p. 14 上から 2 段目 左から 2 罫目	<u>申込日から 4 営業日後まで内容確認</u> します。
p. 40 上から 2 段目 左から 3 罫目	3 <u>工事内容確認シート</u> 省略 (削除)	p. 14 上から 2 段目 左から 3 罫目	3 <u>調査項目と内容</u> 省略 ・ <u>上水道整備課窓口で申込みをする時に「水道給水装置工事届出済」看板を受け取る。</u>
p. 40 上から 3 段目 左から 2 罫目	公道内工事 ・宅内止水栓工事・舗装 <u>仮復旧</u> まで。この時点で書類作成に必要な写真を撮り、寸法を測りオフセットを記入	p. 14 上から 3 段目 左から 2 罫目	公道内工事 ・宅内止水栓工事・舗装 <u>一次復旧</u> まで。この時点で書類作成に必要な写真を撮り、寸法を測りオフセットを記入
p. 40 上から 3 段目 左から 3 罫目 下カッ コ内	一栓工事の場合は、(削除)自主検査調書の提出とメーターオフセットを記入する。 <u>申込図面等に変更がある場合は修正した図面を提出する。</u>	p. 14 上から 3 段目 左から 3 罫目 下カッ コ内	一栓工事の場合は、 <u>竣工検査願</u> ・自主検査調書の提出とメーターオフセットを記入する。(追加)
p. 40 上から 4 段目 左から 3 罫目	<u>自主検査調書等の提出</u> ・工事完成後 <u>下記書類を速やかに提出</u> (2 週間以内) ・ <u>自主検査調書</u> ・ <u>修正した配管図 (変更がある場合)</u> ・ <u>配管図にメーターオフセットを記入する</u>	p. 14 上から 4 段目 左から 3 罫目	<u>給水装置工事竣工検査願</u> ・自主検査調書提出 ・工事完成後(追加)速やかに提出 (2 週間以内) (追加) ・竣工検査願提出時、工事申込書にメーターオフセットを記入する。 ・延長及び申込図面等に変更がある場合は訂正する。
p. 41 上から 1 行目	<u>事前調査項目</u> (削除)	p. 34 上から 1 行目	<u>調査項目と内容</u> ○は調査等が必要な項目、調査や確認を行い○に <u>v</u> <u>でチェック</u>
p. 41 上から 3 段目 左から 2 列目	<u>自家水使用の有無</u>	p. 34 上から 3 段目 左から 2 列目	(追加)

p. 41 上から 4 段目 左から 2 列目	所有者、 <u>(削除)</u> 形態 (単独・連帯)、	p. 34 上から 4 段目 左から 2 列目	所有者、 <u>布設年月</u> 、形態 (単独・連帯)、												
p. 41 上から 5 段目 左から 2 列目	水道メーターと止水栓 (仕切弁) の位置・ <u>深さ・材料</u> 、	p. 34 上から 5 段目 左から 2 列目	水道メーターと止水栓 (仕切弁) の位置 <u>(追加)</u> 、												
p. 41 下から 6 段目 左から 2 列目	<u>(削除)</u>	p. 34 下から 6 段目 左から 2 列目	<u>【埋設物 有 ・ 無】</u> ※該当を○で囲む												
p. 41 下から 4 段目 左から 2 列目	<u>(削除)</u> 口径、管種、布設位置、	p. 34 下から 4 段目 左から 2 列目	<u>布設年月</u> 、口径、管種、布設位置、												
p. 41 下から 1 行目	<u>(削除)</u> <u>(削除)</u> <u>(削除)</u>	p. 34 下から 3 行目	<u>指定工事業者</u> <u>給水装置工事申込者</u>  <u>住 所</u>  <u>氏 名</u>												
p. 42	(頁移動)	p. 73	(頁移動)												
p. 43	(頁移動) (下の表)  <p style="text-align: center;">給水装置記号の表示 2</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">名称</th> <th style="width: 50%;">表示記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘッダー配管用点検口 (点検口の名称記入)</td> <td style="text-align: center;"> 床下点検口</td> </tr> <tr> <td>既設管との接続</td> <td style="text-align: center;"> H1VPφ20 (新設管) 人 VPφ20 (既設管)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	表示記号	ヘッダー配管用点検口 (点検口の名称記入)	 床下点検口	既設管との接続	 H1VPφ20 (新設管) 人 VPφ20 (既設管)	p. 74	(頁移動) (下の表)  <p style="text-align: center;">給水装置記号の表示 2</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">名称</th> <th style="width: 50%;">表示記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘッダー配管用点検口 (点検口の設置位置開口部の寸法記入)</td> <td style="text-align: center;"> 1F床下点検口φ. 6×0. 6</td> </tr> <tr> <td>既設管との接続</td> <td style="text-align: center;"> H1VPφ20 (新設管) 人 VPφ20 (既設管)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	表示記号	ヘッダー配管用点検口 (点検口の設置位置開口部の寸法記入)	 1F床下点検口φ. 6×0. 6	既設管との接続	 H1VPφ20 (新設管) 人 VPφ20 (既設管)
名称	表示記号														
ヘッダー配管用点検口 (点検口の名称記入)	 床下点検口														
既設管との接続	 H1VPφ20 (新設管) 人 VPφ20 (既設管)														
名称	表示記号														
ヘッダー配管用点検口 (点検口の設置位置開口部の寸法記入)	 1F床下点検口φ. 6×0. 6														
既設管との接続	 H1VPφ20 (新設管) 人 VPφ20 (既設管)														

様式第1号(第3条関係) **1 公道新設記入例**

水道給水装置工事申込書

(宛先) 伊勢崎市長  
 給水装置工事を行いますので申し込みます。なお、給水装置工事については、伊勢崎市給水条例及び施行規程を遵守します。  
 本年も込みに係る利用関係の事項については、全ての利用関係人より同意書を取付済みです。  
 また、関係機関に關して利用関係人から異議があるときは、申込者の責任において解決します。

申込者 住所 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 プリダナ イセサキ イチロウ  
 氏名 伊勢崎 一郎  
 電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

給水装置所在地 伊勢崎市波志江町〇〇番地  
 伊勢崎 一郎  
 伊勢崎 一郎  
 伊勢崎 太郎  
 伊勢崎 一郎

加入金(税込) 領収印

水道メーター 出庫日 年月日  
 種別 計測  
 番号

概要  
 メーター口径 〇.20mm (口径変更する場合、元の口径を mm)  
 管種別番号 〇〇年〇〇月〇〇日 第 〇〇〇〇 号  
 所要管長 土曜・分岐 (米俵番号)  
 所要管長 土曜・分岐 (米俵番号)

検定  
 検定年月日 年月日  
 検定検査員 氏名

※本表の枠内を記入してください。枠外は管種別番号に記入してください。

様式第1号(第3条関係) **公道新設記入例**

水道給水装置工事申込書

(宛先) 伊勢崎市長  
 給水装置工事を行いますので、御承認願います。  
 なお、給水装置工事については、伊勢崎市給水条例及び同施行規程を遵守します。

申込者 住所 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 氏名 伊勢崎 一郎  
 電話番号 24-5111

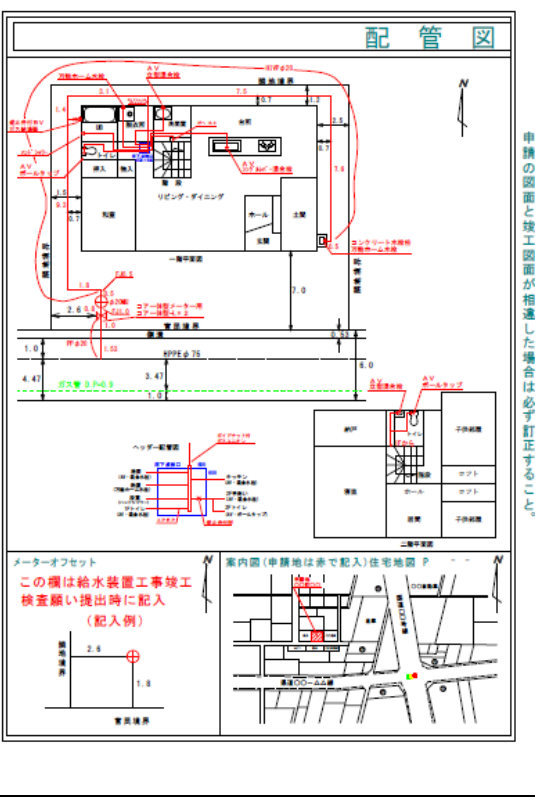
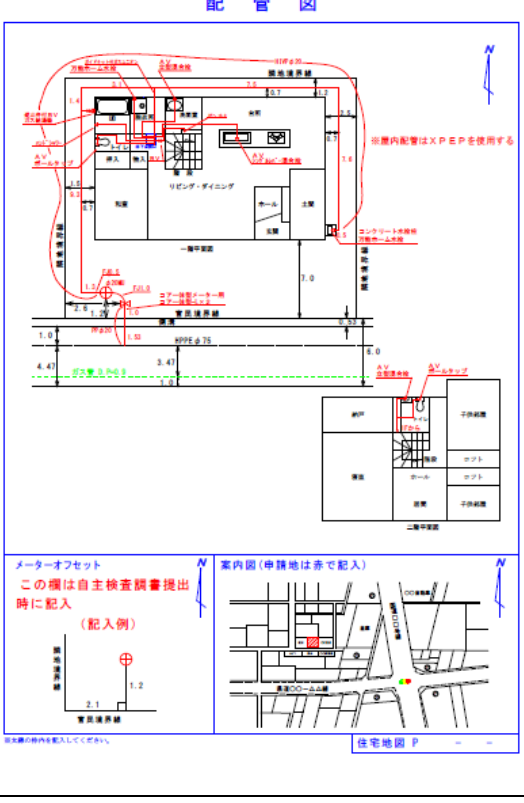
給水装置所在地 伊勢崎市今泉町〇〇番地  
 伊勢崎 一郎  
 伊勢崎 太郎  
 伊勢崎 一郎

委任状  
 委任事項 給水装置工事に関する一切の権限  
 委任者 申込者と同じ  
 受任者 伊勢崎 一郎  
 伊勢崎 一郎  
 伊勢崎 一郎

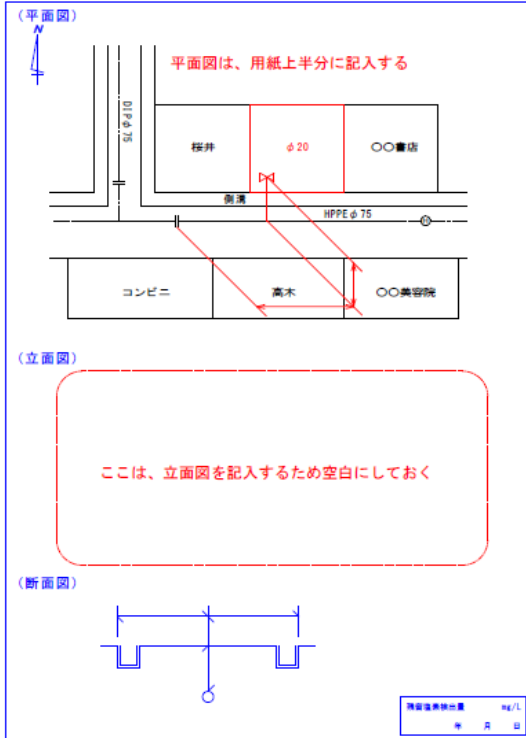
給水管所有者分岐同意書  
 本給水管の分岐に同意します。なお分岐に關して紛争が生じたときは、当事者間で解決します。

土地・家屋使用承諾書  
 伊勢崎市波志江町〇〇番地  
 伊勢崎 一郎  
 伊勢崎 太郎

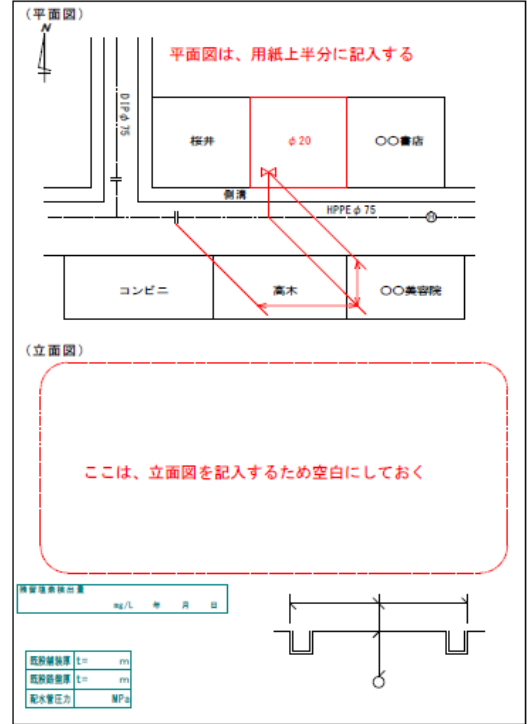
決裁後連絡先 080-xx-xx-xxxx  
 伊勢崎 一郎



本管から止水までの取出し状況



本管から止水までの取出し状況



給水材料 (1次例)			掘削状況
ボール式ナドル分岐管	HPPE φ75×20	1	
難腐付チーブ			
止水板	20	1	
止水物置	鋳鉄製	1	
止水板	中	1	
ポリエチレン管	20 JIS K 6762	1	
フラット	20コア一体型メータ用	1	
スルボ	20コア一体型	2	
V口管			
フレキシブル継手 (公道)	20×500L	1	
フレキシブル継手 (宅内)	20×1000L	1	
難腐削字管			
軟又はセーフティマーク	水色	1	

申込者: 指定給水設置工事専業者  
 住所:   
 氏名:

給水工事設計書

(参考)

名称	形状	数量	公道	掘削	延長
ボール式ナドル分岐管	HPPE φ75×20	1			1.50 m
難腐付チーブ					HPPE φ75
止水板	20	1			20 mm
止水物置	鋳鉄製	1			
止水板	中	1			
ポリエチレン管 (公道)	20 JIS K 6762	1.03			
フラット	20コア一体型メータ用	1			
スルボ	20コア一体型	2			
V口管					
フレキシブル継手 (公道)	20×500L	1			
ポリエチレン管 (宅内)	20 JIS K 6762	1.5			
フレキシブル継手 (宅内)	20×1000L	1			
難腐削字管					

概要  
 掘削  
 3.8㎡  
 0.8×1.0  
 1.8×2.0

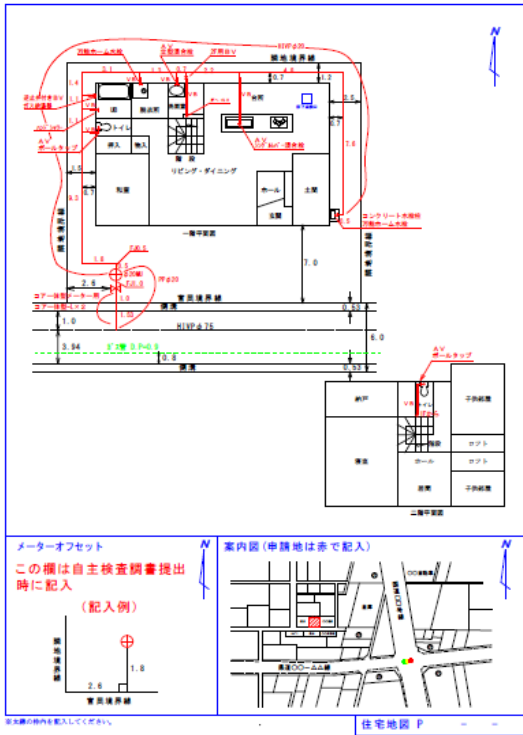
検査年月日 年 月 日  
 備考  
 申込者: 指定給水設置工事専業者  
 住所:   
 氏名:

検査	検査	検査	検査
----	----	----	----

残留塩素検出量				
mg/L	年	月	日	
課長	審査	検査	受付	

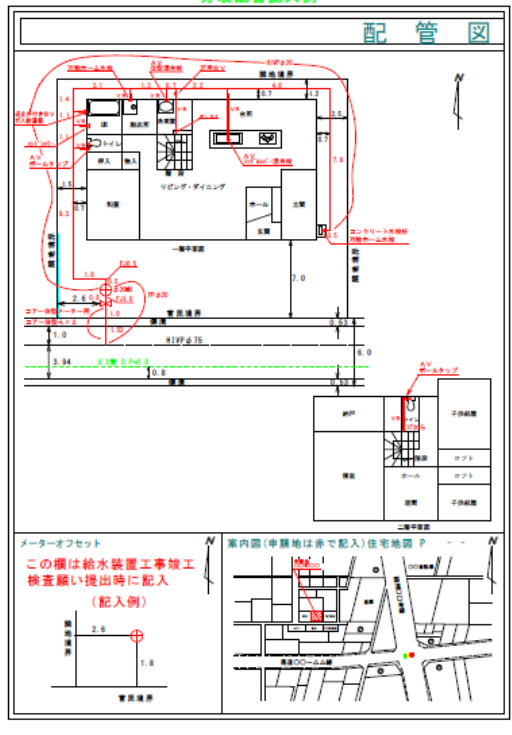
p. 48

分岐配管記入例 配管図



p. 51

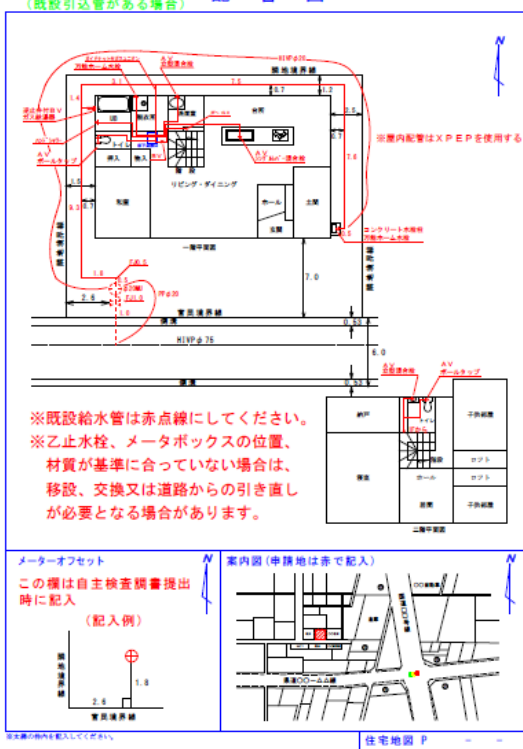
分岐配管記入例



申請の図面と竣工図面が相違した場合は必ず訂正すること。

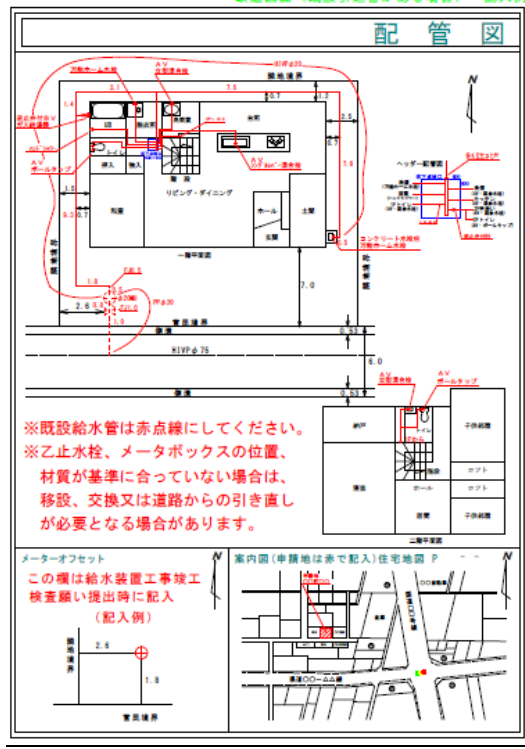
p. 49

改造図面記入例 (既設引込管がある場合) 配管図

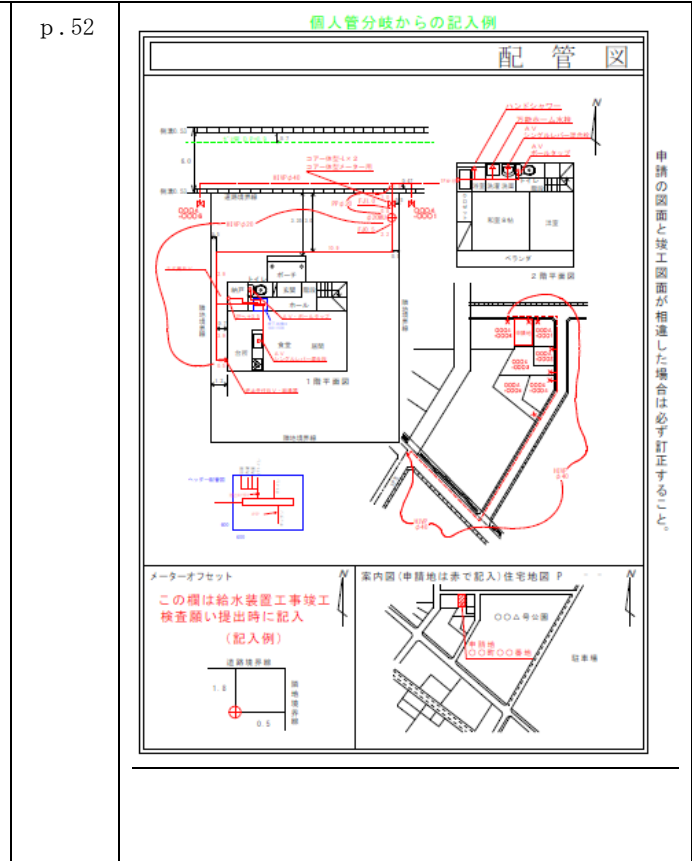
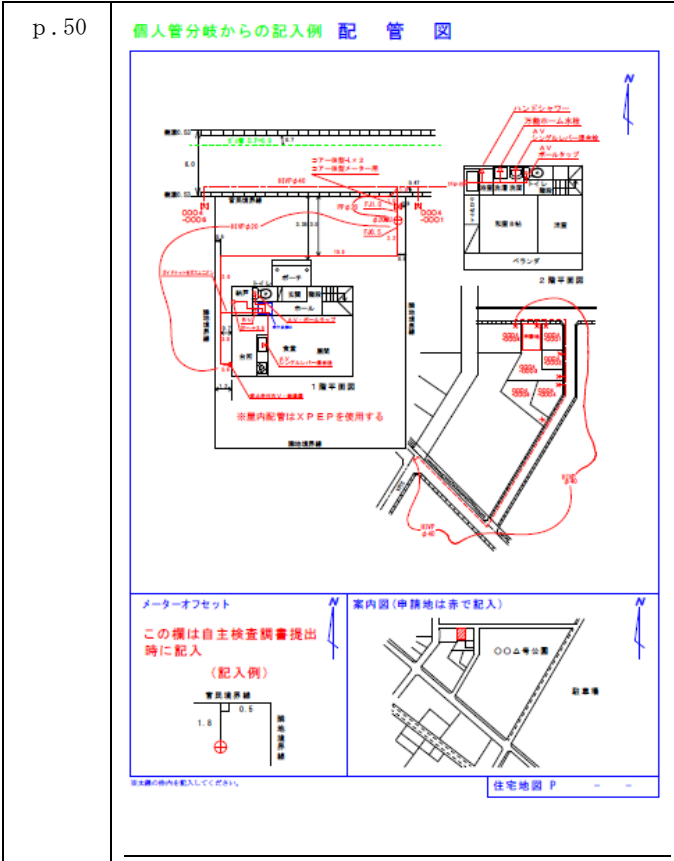


p. 50

改造図面(既設引込管がある場合) 記入例



申請の図面と竣工図面が相違した場合は必ず訂正すること。



申請の図面と竣工図面が相違した場合は必ず訂正すること。

p. 51 念書記入例

給水材料 (1次側)			備註状況
名称	形状	数量	
ボール式バルブ分水器			
螺旋付ゲージ			
止水栓			
止水栓蓋			
止水栓			
ポリエチレン管			
フタケット			
エルボ			
V口管			
フレキシブル継手 (公道)			
フレキシブル継手 (管内)			
検査開口管			
既設はセーフティマーク			

**念書**

この度の給水工事について、20ミリの水量器を設置するように指導を受けましたが、当方▲▲▲▲▲の都合上、13ミリ水量器を使用させて頂きたく、よって水量水压等が不足しても上下水道局に対し、一切異議申し立てを致しません。

申込者 伊勢崎市○○町▲▲番地 (印) ○○設置工事

住所 伊勢崎市○○町▲▲番地 (印) ○○設置工事

氏名 佐藤 太郎 (印)

緑色の文字は手書き記入を示す。

p. 49 給水工事設計書 念書記入例

名称	形状	数量	公道 配水管 引込口径	延長
ボール式バルブ分水器				
螺旋付ゲージ				
止水栓				
止水栓蓋				
止水栓				
ポリエチレン管 (公道)				
フタケット				
エルボ				
V口管				
フレキシブル継手 (公道)				
フレキシブル継手 (管内)				
検査開口管				
既設はセーフティマーク				
異議のない点検印付工				
道路設備標準 (P管)				
道路設備標準				
道路設備標準				
交通安全対策				

**摘要**

**注意**

この度の給水工事について、20ミリの水量器を設置するように指導を受けましたが、当方▲▲▲の都合上、13ミリ水量器を使用させて頂きたく、よって水量水压等が不足しても上下水道局に対し、一切異議申し立てを致しません。ここに念書を添えて、お願い申し上げます。

申込者 伊勢崎市○○町▲▲番地 (印) ○○設置工事

住所 伊勢崎市○○町▲▲番地 (印) ○○設置工事

氏名 佐藤 太郎 (印)

緑色の文字は手書き記入を示す。

検査年月日	年	月	日

備考

残留塩素検出量	mg/L	年	月	日
課長	審査	検査	受付	

様式第1号(第3条関係) 共同住宅申込記入例

水道給水装置工事申込書

(宛先) 伊勢崎市長  
 水道給水装置工事を行いますので申し込みます。なお、水道給水工事については、伊勢崎市長令第1号及び関係規程を遵守します。  
 ※申込み及び関係規程の事項については、全ての利害関係人より同意を得る必要があります。  
 また、関係機関に貸し付け関係人があるときは、申込書の裏面に併せて記入します。

住所 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 フリガナ イセサキ イチロウ  
 氏名 伊勢崎 一郎  
 電話番号 ××××-××-××××

給水装置所在地 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 区画番号 A-101

給水装置所在地 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 区画番号 伊勢崎 一郎

土地所在地 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 区画番号 伊勢崎 一郎

家屋所在地 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 区画番号 伊勢崎 一郎

委任者 申込者(同じ) 委任事項 水道給水装置工事に関する一切の権限

受任者 伊勢崎市〇〇町〇〇番地  
 名称 〇〇設備工業  
 電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇  
 F.A.X 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇  
 給水装置主任技術者 〇〇 〇〇

水運 出渡日 年月日  
 メーカー 種別 設計  
 番号

加入金(税込) 領収印

概要

申請書に記入してください。水取番号(区画)の番号に記入してください。

様式第1号(第3条関係) 共同住宅申込記入例

水道給水装置工事申込書

(宛先) 伊勢崎市長  
 水道給水装置工事を行いますので、御承認願います。  
 なお、給水装置工事については、伊勢崎市給水条例及び関係規程を遵守します。  
 ※申込み及び関係規程の事項については、全ての利害関係人より同意を得る必要があります。  
 また、関係機関に貸し付け関係人があるときは、申込書の裏面に併せて記入します。

住所 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 フリガナ イセサキ イチロウ  
 氏名 伊勢崎 一郎  
 電話番号 ××××-××-××××

給水装置所在地 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 区画番号 A-101

給水装置所在地 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 区画番号 伊勢崎 一郎

土地所在地 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 区画番号 伊勢崎 一郎

家屋所在地 伊勢崎市今泉町二丁目〇番地  
 区画番号 伊勢崎 一郎

委任者 申込者(同じ) 委任事項 水道給水装置工事に関する一切の権限

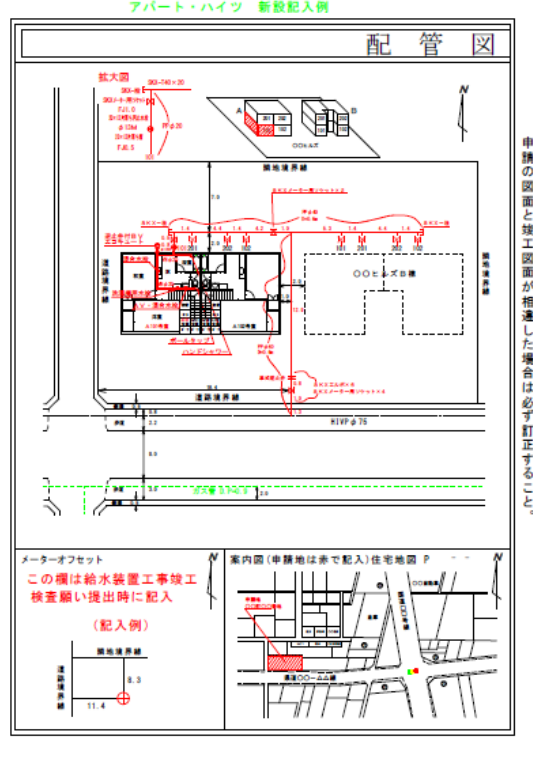
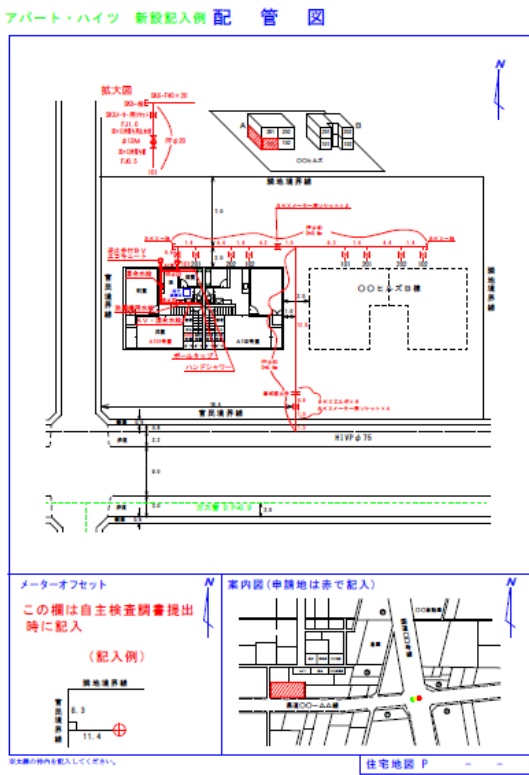
受任者 伊勢崎市〇〇町〇〇番地  
 名称 〇〇設備工業  
 電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇  
 F.A.X 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇  
 給水装置主任技術者 〇〇 〇〇

水運 出渡日 年月日  
 メーカー 種別 設計  
 番号

加入金(税込) 領収印

概要

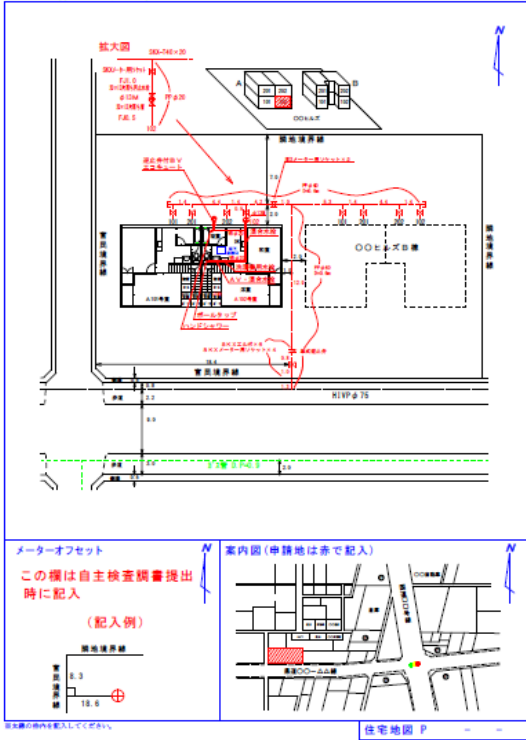
申請書に記入してください。水取番号(区画)の番号に記入してください。





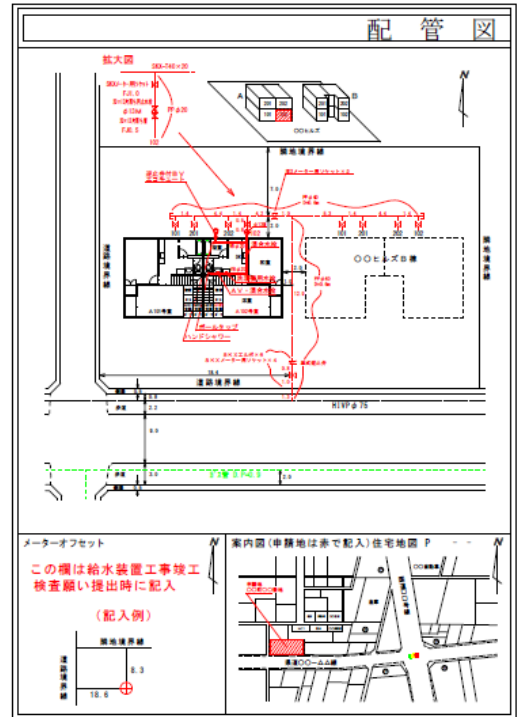
p. 54

アパート・ハイツ 1階への分岐記入例 配管図



p. 44

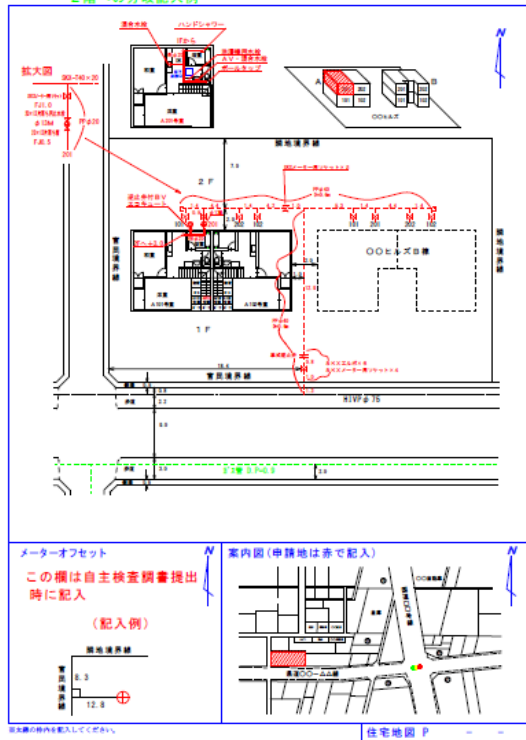
アパート・ハイツ 1階への分岐記入例 配管図



申請の図面と竣工図面が相違した場合は必ず訂正すること。

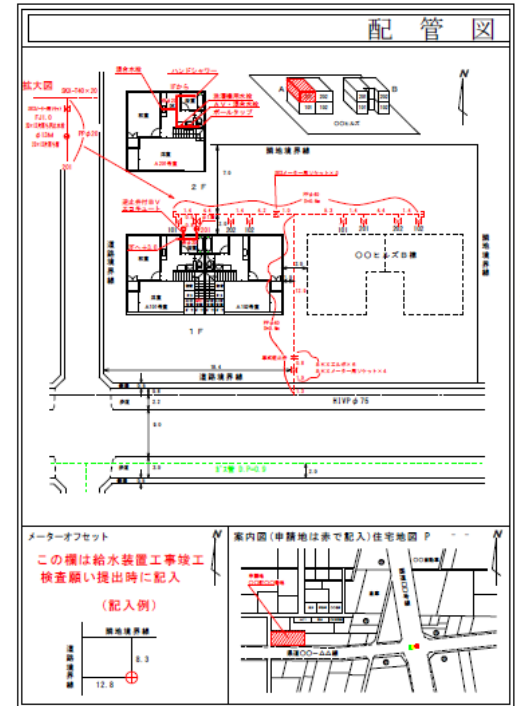
p. 55

アパート・ハイツ 2階への分岐記入例 配管図



p. 45

アパート・ハイツ 2階への分岐記入例 配管図



申請の図面と竣工図面が相違した場合は必ず訂正すること。

p. 56

様式第2号(第14条関係) 2

### 水道使用申込書

(宛先)伊勢崎市長

記入日	年	月	日
-----	---	---	---

水栓情報

水栓番号	-	-	-	-	-	-	-
水栓所在地							

水道使用者 **※隣街区にチェックを入れて、住所・氏名等を記入**

区分	<input type="checkbox"/> 一般使用者 <input type="checkbox"/> 工事期間中の使用者						
住所							
フリガナ 氏名							
電話	( )	-	-	-	-	-	-

※) 一般使用者とは、今後継続して水道を使用する方を言います。

書類(納付書等)の送付先 **※隣街区にチェックを入れて、その他の場合は送付先住所を記入**

区分	<input type="checkbox"/> 水栓所在地 <input type="checkbox"/> 水道使用者の住所 <input type="checkbox"/> その他(下記のとおり)						
その他住所							

上記のとおり、水道を使用したいので申し込みます。

1 水道料金の納付及び給水装置については、伊勢崎市給水条例及び伊勢崎市給水条例施行規程を遵守します。

また、これに違反したときは、その処分に従い、異議の中立てはいたしません。

2 検針及び漏水調査並びに修繕のため、宅地内に立ち入ることを同意します。

3 工事期間中の水道使用者は、工事終了後、責任を持って休止の手続きを行います。

---

(上下水道局 記入欄)

メーター出庫日: 年 月 日    使用開始日: 年 月 日    メーター出庫者:

p. 33

様式第2号(第14条関係)

年 月 日

(宛先)伊勢崎市長

(申込者)住所  
氏名  
電話番号

### 水道使用申込書

- 水道使用者  
住所  
氏名  
電話番号
- 給水装置所有者(水道使用者と異なる場合に記入してください。)  
住所  
氏名  
電話番号
- 水栓番号    -
- 水栓所在地
- 使用開始日    年 月 日

上記のとおり、水道を使用したいので申し込みます。

1 料金の納付及び給水装置については、伊勢崎市給水条例及び伊勢崎市給水条例施行規程を遵守します。また、これに違反したときは、その処分に従い、異議の中立てはいたしません。

2 検針及び漏水調査並びに修繕のため、宅地内に立ち入ることを同意します。

p. 57

### 3 工事内容確認シート

※該当する項目について記入してください

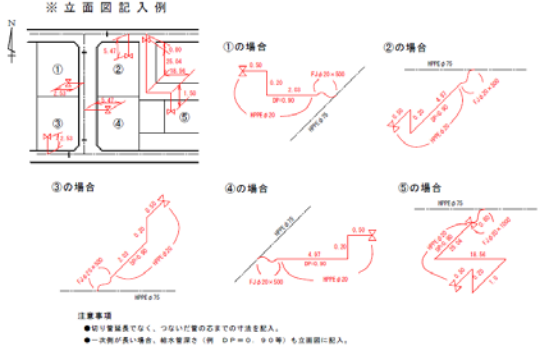
申込者氏名	指定工事事業者名
給水装置所在地	
項目	内 容
給水する 種 物	<input type="checkbox"/> 建物種類    新築建物・既存建物・建物なし(一般のみ) <input type="checkbox"/> 建物の用途    専ら住宅・専ら住宅以外用途等( ) <input type="checkbox"/> 建物がない場合(一般のみ)の使用目的・用途等( ) <input type="checkbox"/> 自家水使用    あり・なし <input type="checkbox"/> 受水機    あり・なし
既設の給 水装置	<input type="checkbox"/> 既設給水装置    あり(水栓番号: )・なし <small>※埋設ある場合は全て記入する</small> <input type="checkbox"/> 上記でない場合    使用する・廃止する(廃止届提出) <small>※使用する場合は、位置・材料が基準に適合していないときは適合するように計画する</small> <input type="checkbox"/> 既設乙止水栓の位置(オフセット)・深さ <small>上流側の境界から( )m、左右の境界の近い方から( )m、深さ( )m</small> <input type="checkbox"/> 既設乙止水栓の種類    銅鉄製・フォルダーセット <input type="checkbox"/> 既設乙止水栓の設置位置に(物理的)に車両が進入できるか    できる・できない <input type="checkbox"/> 既設乙止水栓の種類    三式・三式以外 <input type="checkbox"/> 取出し位置の変更(公道分岐等で分水止を行う)    する・しない
配管計画	<input type="checkbox"/> 布設する給水管の近(に)既設又は新設予定の下水の管・井・電柱・雨水管等の構造物はあるか <small>あり(種類: 10種程度)・電柱・雨水管・その他( )</small> ・なし <input type="checkbox"/> 給水管との距離は有効で0.3m以上あるか    あり・なし <input type="checkbox"/> 乙止水栓の設置位置に(物理的)に進入できるか    できる・できない
取出し工 事	<input type="checkbox"/> 取出し工事    あり・なし <input type="checkbox"/> 道路の状況    舗装・砂利 <input type="checkbox"/> 道路側溝等はあるか    ※ありの場合は種類も記入する。また深さを確認して計画する <small>あり(種類: 側溝・水路・その他( ))</small> ・なし <input type="checkbox"/> 埋 設 物    あり・なし <input type="checkbox"/> 埋設物種類    下水・ガス・電氣・電話・その他( ) <small>※埋設物がある場合は口径、布設位置(水道工事位置との離れ)を配管図に記入する</small> <input type="checkbox"/> 取出し予定位置から0.3m以内に他の給水・下水・ガス等の取出し管があるか    あり・なし <input type="checkbox"/> 掘削した同一の穴に他の給水管の布設、分水止、下水管等の布設をするか <small>する(工事の種類: ) 区画等( )</small> ・しない <input type="checkbox"/> 補修本機目    給水工事(給水工事)    他工事( )で施工
境 界	<input type="checkbox"/> 乙止水栓・メーターの設置位置付近の境界を判断するための指標(土柱や構造物等の埋設) <small>境界杭・側溝・建築図面・仮杭・その他( )</small>
公共工事の種別	公共工事の工事名:
掘削開始日	使用期間(見込み): 年 月 日 ~ 年 月 日
掘削終了日	終了後の処理    分水止・別申請で取出し管使用・メーター撤去

(頁追加)

p. 58 (頁移動)

p. 35 (頁移動)

p. 59	(頁移動)	p. 36	(頁移動)
p. 60	(頁移動)	p. 37	(頁移動)
p. 61	<p>6 工事施工書 申請時の記入例 立面図</p> <p>注意事項 配水管等の分岐から立ち上がりまでの延長を記入する(切り管延長を記入しない) 一次配水管深さ(例 DP=0.9等)を立面図に記入する</p> <p>注意事項 分岐や配水管等(サム付分水管を除く)の中心からサム付分水管までの寸法を記入し、線を記入する どちらか100mm以内の場合、管路の配水管の形状が異なる場合は、立断面の図面(1/4)を添付し、寸法を記入する(中心からサム付分水管までの寸法を記入し、線を記入する) サム付分水管から止水継ぎまでの寸法を記入する 管径の寸法と管種は申請時に記入する</p> <p>ここは、工事竣工後に記入する</p>	p. 46	<p>工事施工書 申請時の記入例 立面図</p> <p>注意事項 分岐や配水管等(サム付分水管を除く)の中心からサム付分水管までの寸法を記入し、線を記入する どちらか100mm以内の場合、管路の配水管の形状が異なる場合は、立断面の図面(1/4)を添付し、寸法を記入する(中心からサム付分水管までの寸法を記入し、線を記入する) サム付分水管から止水継ぎまでの寸法を記入する 管径の寸法と管種は申請時に記入する</p> <p>ここは、工事竣工後に記入する</p>
p. 62	<p>工事施工書 監督用 申請時の記入例 案内図</p> <p>注意事項 設計通り施工できなかった場合は問題を特定する 切り管延長を記入しない 一次配水管深さ(例 DP=0.9等)を立面図に記入する</p> <p>注意事項 管路の敷設図には、配水管の寸法と管種を記入する。配水管の寸法と管種、継ぎ手、継ぎ手等(例継ぎ手、継ぎ手等)を立面図に記入する 継ぎ手がない場合は、敷設図に寸法を記入する 継ぎ手がある場合は、敷設図に寸法を記入する</p> <p>注意事項 分岐や配水管等(サム付分水管を除く)の中心からサム付分水管までの寸法を記入する どちらか100mm以内の場合、管路の配水管の形状が異なる場合は、立断面の図面(1/4)を添付し、寸法を記入する(中心からサム付分水管までの寸法を記入し、線を記入する) サム付分水管から止水継ぎまでの寸法を記入する 管径の寸法と管種は申請時に記入する</p> <p>ここは、申請時に申請場所がわかる地図を記入する</p>	p. 47	<p>工事施工書 監督用 申請時の記入例 案内図</p> <p>注意事項 設計通り施工できなかった場合は問題を特定する 切り管延長を記入しない 一次配水管深さ(例 DP=0.9等)を立面図に記入する</p> <p>注意事項 管路の敷設図には、配水管の寸法と管種を記入する。配水管の寸法と管種、継ぎ手、継ぎ手等(例継ぎ手、継ぎ手等)を立面図に記入する 継ぎ手がない場合は、敷設図に寸法を記入する 継ぎ手がある場合は、敷設図に寸法を記入する</p> <p>注意事項 分岐や配水管等(サム付分水管を除く)の中心からサム付分水管までの寸法を記入する どちらか100mm以内の場合、管路の配水管の形状が異なる場合は、立断面の図面(1/4)を添付し、寸法を記入する(中心からサム付分水管までの寸法を記入し、線を記入する) サム付分水管から止水継ぎまでの寸法を記入する 管径の寸法と管種は申請時に記入する</p> <p>ここは、申請時に申請場所がわかる地図を記入する</p>
p. 63	<p>工事施工書 施工後の記入例 立面図</p> <p>注意事項 設計通り施工できなかった場合は問題を特定する 切り管延長を記入しない 一次配水管深さ(例 DP=0.9等)を立面図に記入する</p> <p>注意事項 管路の敷設図には、配水管の寸法と管種を記入する。配水管の寸法と管種、継ぎ手、継ぎ手等(例継ぎ手、継ぎ手等)を立面図に記入する 継ぎ手がない場合は、敷設図に寸法を記入する 継ぎ手がある場合は、敷設図に寸法を記入する</p> <p>注意事項 分岐や配水管等(サム付分水管を除く)の中心からサム付分水管までの寸法を記入する どちらか100mm以内の場合、管路の配水管の形状が異なる場合は、立断面の図面(1/4)を添付し、寸法を記入する(中心からサム付分水管までの寸法を記入し、線を記入する) サム付分水管から止水継ぎまでの寸法を記入する 管径の寸法と管種は申請時に記入する</p> <p>ここは、申請時に申請場所がわかる地図を記入する</p>	p. 48	<p>工事施工書 施工後の記入例 立面図</p> <p>注意事項 設計通り施工できなかった場合は問題を特定する 切り管延長を記入しない 一次配水管深さ(例 DP=0.9等)を立面図に記入する</p> <p>注意事項 管路の敷設図には、配水管の寸法と管種を記入する。配水管の寸法と管種、継ぎ手、継ぎ手等(例継ぎ手、継ぎ手等)を立面図に記入する 継ぎ手がない場合は、敷設図に寸法を記入する 継ぎ手がある場合は、敷設図に寸法を記入する</p> <p>注意事項 分岐や配水管等(サム付分水管を除く)の中心からサム付分水管までの寸法を記入する どちらか100mm以内の場合、管路の配水管の形状が異なる場合は、立断面の図面(1/4)を添付し、寸法を記入する(中心からサム付分水管までの寸法を記入し、線を記入する) サム付分水管から止水継ぎまでの寸法を記入する 管径の寸法と管種は申請時に記入する</p> <p>ここは、申請時に申請場所がわかる地図を記入する</p>

<p>p. 64</p>	<p>※立面図記入例</p>  <p>①の場合</p> <p>②の場合</p> <p>③の場合</p> <p>④の場合</p> <p>⑤の場合</p> <p>注意事項 ●必ず筆書きでなく、つないだ筆の芯までの寸法を記入。 ●一次側が高い場合、給水管径と(例: DP=0.90等)も立面図に記入。</p>	<p>(頁追加)</p>													
<p>p. 65</p>	<p>(頁移動)</p>	<p>p. 40 (頁移動)</p>													
<p>p. 66 決裁欄</p>	<table border="1" data-bbox="223 660 478 817"> <tr> <td>確 認</td> <td>受 付</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	確 認	受 付			<p>p. 55 決裁欄</p> <table border="1" data-bbox="901 660 1388 840"> <tr> <td colspan="3">年 月 日・発議</td> </tr> <tr> <td>課 長</td> <td>審 査</td> <td>受 付</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	年 月 日・発議			課 長	審 査	受 付			
確 認	受 付														
年 月 日・発議															
課 長	審 査	受 付													
<p>p. 67 上から 1 行目</p>	<p>①. 公道取出し 2. <u>給水主管 (アパート・テナント等)</u> 3. 建物内給水管 (受水槽・自家水から切り替え)</p>	<p>p. 62 上から 1 行目</p> <p>1. 公道取出し 2. <u>メイン管</u> <u>(追加)</u></p>													
<p>p. 67 決裁欄</p>	<p>(削除)</p>	<p>p. 62 決裁欄</p> <table border="1" data-bbox="901 1220 1332 1377"> <tr> <td>課 長</td> <td>審 査</td> <td>受 付</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	課 長	審 査	受 付										
課 長	審 査	受 付													
<p>p. 67 上から 8 行目</p>	<p>水道法施行令第 6 条 (給水装置の構造及び材質の基準) 及び、<u>給水装置の構造及び材質の基準に関する省令第 1 条 (耐圧に関する基準)</u> により、別紙写真のとおり検査しました。</p>	<p>p. 62 上から 7 行目</p> <p>水道法施行令第 5 条第 2 項 (給水装置の構造及び材質の基準) 及び、<u>厚生省令第 1 条 (耐圧に関する基準)</u> により、別紙写真のとおり検査しました。</p>													

自主検査調査			
受付日	年 月 日	受付番号	水検番号
給水設備所在地		申込者氏名	
検査種別及び検査項目			
屋 外	水 道 メーター等	適正な場所（車道と隣口）に設置し、検針、取替に支障がないこと	
	検 針 表	逆付け、片寄りがなく、水平に取付けられていること	
	メーターオフセット	検針表は検針機等を正確に正確に取付けていること	
	指定工事事業者シール	メーターボックスの蓋の高さに貼られていること（新設・改造品）	
屋 外	指定工事事業者シール	所定の高さが確保されていること（止水水検量の高さは60cm以上必要）	
	検 針 表	検針表と整合していること	
	メーターオフセット	検針表と整合していること	
	メーターボックス	メーターボックスは検針機等を正確に正確に取付けていること	
配 管	配管	所定の高さが確保されていること（止水水検量の高さは60cm以上必要）	
	検 針 表	検針表と整合していること	
	メーターオフセット	メーターボックスは検針機等を正確に正確に取付けていること	
	メーターボックス	メーターボックスは検針機等を正確に正確に取付けていること	
給水用具	給水用具	検針表と整合していること	
	検 針 表	検針表と整合していること	
	メーターオフセット	メーターボックスは検針機等を正確に正確に取付けていること	
	メーターボックス	メーターボックスは検針機等を正確に正確に取付けていること	
受 水 槽	社水口と給水用具等の位置関係が適正であること	ウォーターハンマー防止措置等がとられていること	
機 能 検 査	漏水した後、各給水用具からそれぞれ検査し、水道メーター経由の検査及び給水用具の社水量、動作状態などについて検査していること	一定の水圧による耐久試験を行っていること	
前 任 試 験	検査結果	mg/l	
水 質 検 査	検査結果	mg/l	
検 工 図 の 受 け 渡 し	申込者または所有者に対して検工図の写しを渡していること		
<p>伊勢崎市</p> <p>上記のうち該当する項目について自主検査を行い適正であることを確認しました。検工検査をお願いします。</p> <p>申込者等に当該給水設備を引き渡した後においても、当該工事の原因の不具合等が発生した場合は責任をもって対応します。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>指定工事事業者名 給水設備工事主任技術者</p>			

自主検査調査			
受付番号	申込者氏名	水検番号	検査内容
給水設備所在地			
検査種別及び検査項目			
屋 外	給 水 用 具	社水口と給水用具等の位置関係が適正であること	ウォーターハンマー防止措置等がとられていること
	機 能 検 査	漏水した後、各給水用具からそれぞれ検査し、水道メーター経由の検査及び給水用具の社水量、動作状態などについて検査していること	一定の水圧による耐久試験を行っていること
	前 任 試 験	検査結果	mg/l
	水 質 検 査	検査結果	mg/l
配 管	給 水 用 具	社水口と給水用具等の位置関係が適正であること	ウォーターハンマー防止措置等がとられていること
	機 能 検 査	漏水した後、各給水用具からそれぞれ検査し、水道メーター経由の検査及び給水用具の社水量、動作状態などについて検査していること	一定の水圧による耐久試験を行っていること
	前 任 試 験	検査結果	mg/l
	水 質 検 査	検査結果	mg/l
給水用具	給 水 用 具	社水口と給水用具等の位置関係が適正であること	ウォーターハンマー防止措置等がとられていること
	機 能 検 査	漏水した後、各給水用具からそれぞれ検査し、水道メーター経由の検査及び給水用具の社水量、動作状態などについて検査していること	一定の水圧による耐久試験を行っていること
	前 任 試 験	検査結果	mg/l
	水 質 検 査	検査結果	mg/l
受 水 槽	社水口と給水用具等の位置関係が適正であること	ウォーターハンマー防止措置等がとられていること	
機 能 検 査	漏水した後、各給水用具からそれぞれ検査し、水道メーター経由の検査及び給水用具の社水量、動作状態などについて検査していること	一定の水圧による耐久試験を行っていること	
前 任 試 験	検査結果	mg/l	
水 質 検 査	検査結果	mg/l	
検 工 図 の 受 け 渡 し	申込者または所有者に対して検工図の写しを渡していること		
<p>伊勢崎市</p> <p>上記のとおり自主検査を行い適正であることを確認しました</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>指定工事事業者名 給水設備工事主任技術者</p>			

検査種別及び検査項目

(頁移動)

(頁移動)

(頁移動)

(頁移動)

(頁移動)

(頁移動)

(頁削除)

(頁削除)

(頁削除)

(頁削除)